

野村IR WEBセミナー  
会社説明資料

---

加賀電子株式会社 <東証プライム市場：8154>

取締役 上席執行役員  
管理本部長 石原 康広

2026年3月24日

## 目次

---

- 会社プロフィール P- 3 ~ 10
  - 電子部品事業について P-12 ~ 14
  - EMS事業について P-16 ~ 22
  - 「中期経営計画 2027」について P-24 ~ 36
  - 2026年3月期 第3四半期決算、  
業績予想、為替レート P-38 ~ 51
- <参考>
- 直近5年の業績トレンド、中計セグメント別業績 P-53 ~ 56

# 会社プロフィール

---

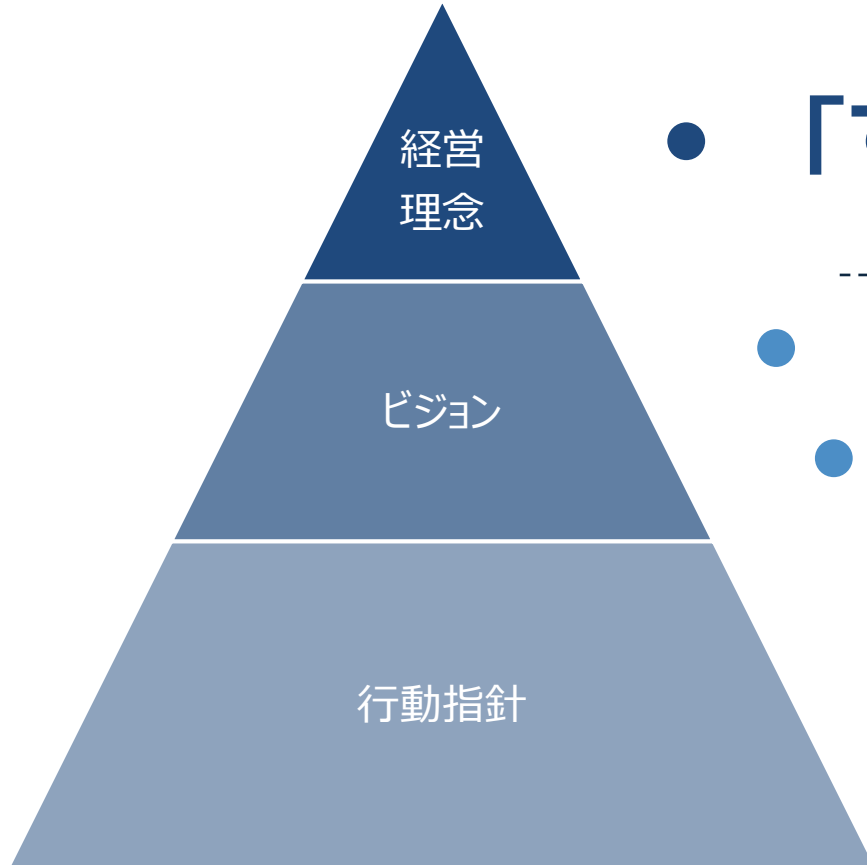
## 独立系、ワンストップサービスのエレクトロニクス総合商社

- 会社名 加賀電子株式会社
- 代表者 代表取締役  
会長執行役員 塚本 勲  
代表取締役  
社長執行役員 門 良一
- 本社所在地 東京都千代田区神田松永町20番地
- 設立 1968年（昭和43年）9月12日
- 資本金 121億33百万円
- 上場市場 東証 プライム市場（証券コード：8154）
- グループ会社数 73社（2025年9月30日現在）
- 連結従業員数 9,100名（2025年9月30日現在）



創業者・  
代表取締役 会長執行役員 塚本 勲  
代表取締役 社長執行役員 門 良一

「すべてはお客様のために」—加賀電子は創業以来、お客様の声をとことん聞き、お客様のご要望にひたすら応えていくことで、電子部品や半導体のキットから加工・製造へと展開したEMSビジネス、そして完成品の販売を行う情報機器ビジネスへと事業領域を拡大してきました。これからも、「我が国業界No.1の企業」そして「グローバル競争に勝ち残る企業」を目指し、果敢に挑戦し続けてまいります。



## ● 「すべてはお客様のために」

### ● 「我が国業界No.1企業を目指す」

### ● 「グローバル競争に勝ち残る企業を目指す」

● 「F.Y.T.」 : 変化に柔軟に、常に若々しく、果敢に挑戦

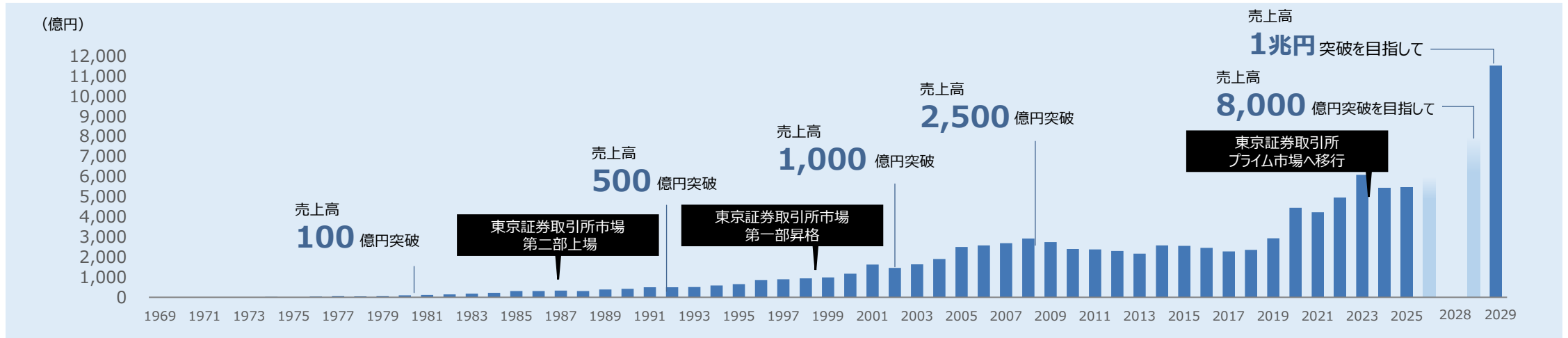
● 「3G」 : あらゆるものを、グローバルに、総合力を活かして

● 「加賀イズム」 : 経営マインド、営業マインド、社会人としての心構え

会社設立以来、創業者や諸先輩の経験に裏打ちされた宝とも言うべき数多くの『語録』  
日々の競争を勝ち抜いていくための我々の行動の『拠り所』として、将来にわたって継承されるDNA

加賀イズムの3本柱		基本精神
1. 経営マインド	「全員が経営者」であるという意識をもった行動	1-1. 壮大な夢と強い想いをもった経営者たれ
		1-2. ハングリー精神をもってチャレンジし続ける
		1-3. 強い想いをもって、まずは行動
2. 営業マインド	「商社マン・ビジネスマン」としてもつべき意識と行動	2-1. TAXAN努力し、TAXAN儲けてTAXAN幸せになる
		2-2. 人脈は無形の財産
		2-3. 常に、旺盛な好奇心を持ち続ける
3. 社会人としての心構え	社会人として仕事を進める上での意識と行動	3-1. 自己研鑽
		3-2. 信賞必罰
		3-3. 公明正大

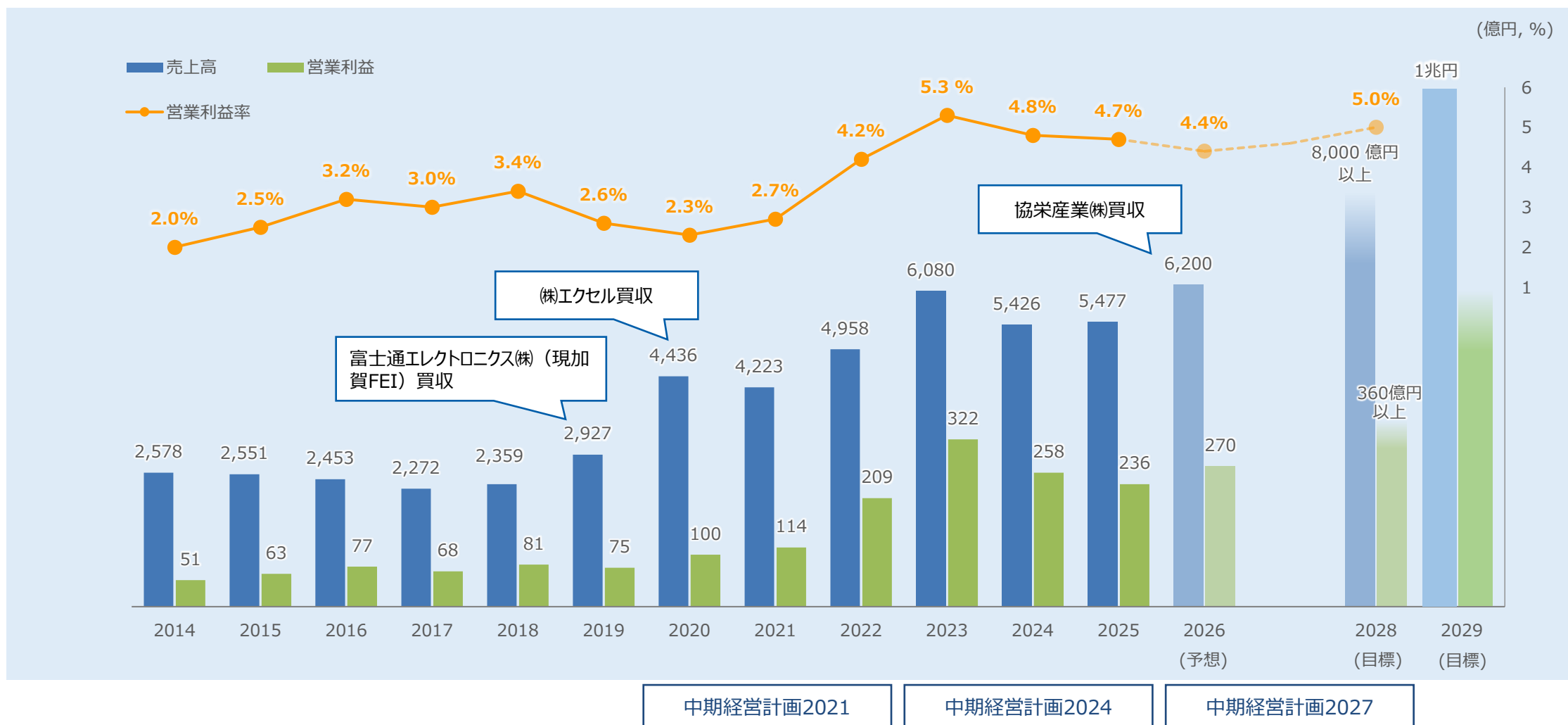
成長を続ける加賀電子の推進力は、時代の変化をいち早く察知する鋭敏な能力です。その力は、技術革新が加速する時代にあって、エレクトロニクス分野で着実な成長を遂げてきました。長年にわたって培ってきた情報収集力と販売網をベースに、既存の事業にとらわれない自由な発想により、無限の可能性に向かって進化を続けています。



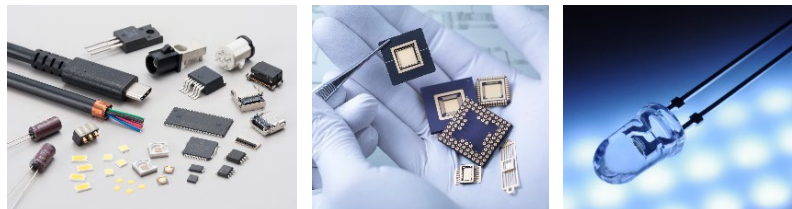
<p>資本金100万円で 東京都千代田区外神田に設立</p> <p>1968</p>	<p>インバーダーゲーム ブーム到来</p> <p>1978</p>	<p>アップル用自社ブランドモニター 「KG-12」を発売</p> <p>1981</p>	<p>家庭用ゲーム事業を 開始</p> <p>1983</p>	<p>自社工場 港加賀電子を 中国（深圳）に設立</p> <p>1999</p>	<p>KAGA (THAILAND) を タイに設立</p> <p>2002</p>	<p>TAXAN MEXICO を メキシコに設立</p> <p>2016</p>	<p>加賀マイクロソリューション 福島工場竣工</p> <p>2019</p>
<p>CB トランシーバー ブーム到来</p> <p>1973</p>	<p>TAXAN USA を アメリカに設立</p> <p>1981</p>	<p>自社ブランドカラーモニター 「TAXAN RGB VISION」を発売</p> <p>1983</p>	<p>KAGA (H.K.) を 香港に設立</p> <p>1992</p>	<p>KAGA COMPONENTS (MALAYSIA) をマレーシアに設立</p> <p>2000</p>	<p>KD TEC を チェコに設立</p> <p>2009</p>	<p>加賀FEI(旧・富士通 エレクトロニクス) を子会社化</p> <p>2019</p>	<p>売上高 1兆円 突破を目指して</p> <p>2029</p>

# 直近12年の業績推移

2014年以降、「利益重視の経営」をグループに徹底し、営業利益および営業利益率を改善。  
2019年からはM&Aを積極展開し、成長路線へシフト。持続的な収益拡大を目指します。

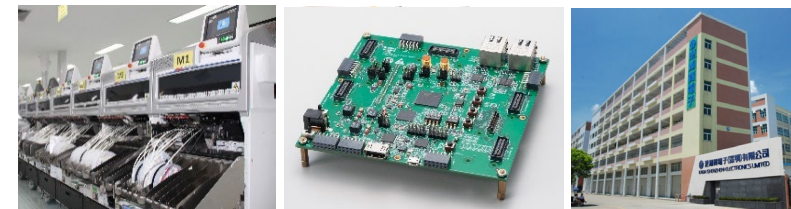


## 電子部品・半導体ビジネス



国内外のお客様へ、一般電子部品・半導体等の販売代理店活動

## EMSビジネス



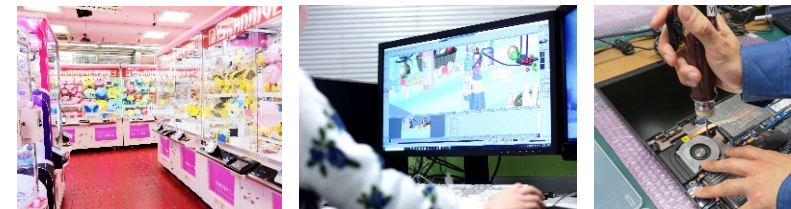
完成品から半完成品まで設計開発製造のトータルサポートを実施

## 情報機器ビジネス



PCや周辺機器を国内外の流通チャンネルに供給、及びネットワークソリューション分野への対応

## ニュービジネス



アミューズメントに関する製品・ソフト開発及び製造販売およびゴルフ用品販売事業ほか

## 売上構成比



18ヶ国/136拠点に展開するグローバルネットワークで、顧客ニーズに迅速且つ柔軟に対応します。

## 欧州

- 製造：チェコ、トルコ
- 営業：ドイツ、オーストリア

ドイツ、チェコ、オーストリア、トルコ

## 中国

- 製造：深圳、上海、蘇州、湖北
- 営業：香港、上海、大連

大連、湖北、上海、蘇州、香港、深圳、台湾、韓国、タイ、ベトナム、マレーシア、インドネシア、インド、シンガポール

## 日本

- 製造：十和田、山形、福島、東京、鳥取
- 営業：東京、名古屋、大阪、福岡、仙台など

## 米州

- 製造：メキシコ
- 営業：サンノゼ、シカゴ、ロサンゼルス、デンバー

サンノゼ、デンバー、シカゴ、ロサンゼルス、メキシコ

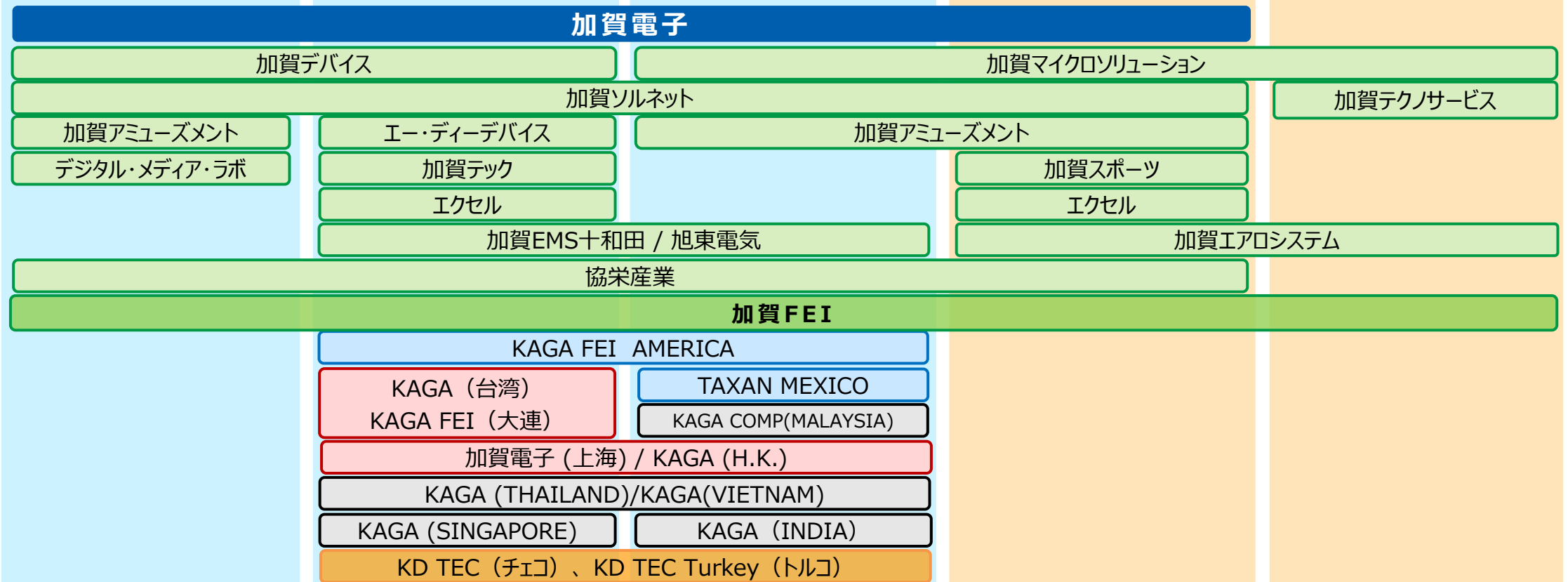
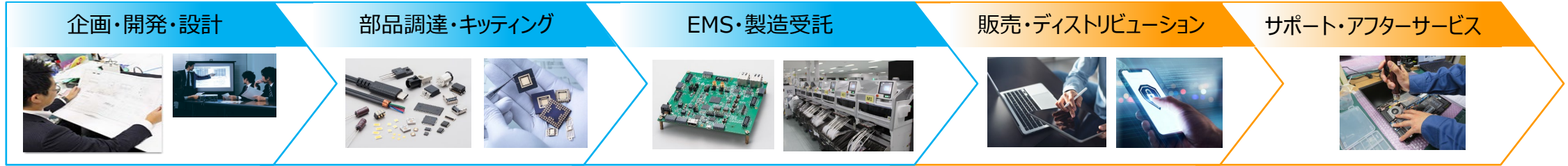
## アジア・アセアン

- 製造：タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、インド
- 営業：韓国、台湾、シンガポール、タイ、インド

● 営業拠点 ● 製造拠点

# 加賀電子グループの強み-③：ワンストップ

製造受託に留まらず、企画・開発から販売・販売後サポートまでワンストップで対応します。



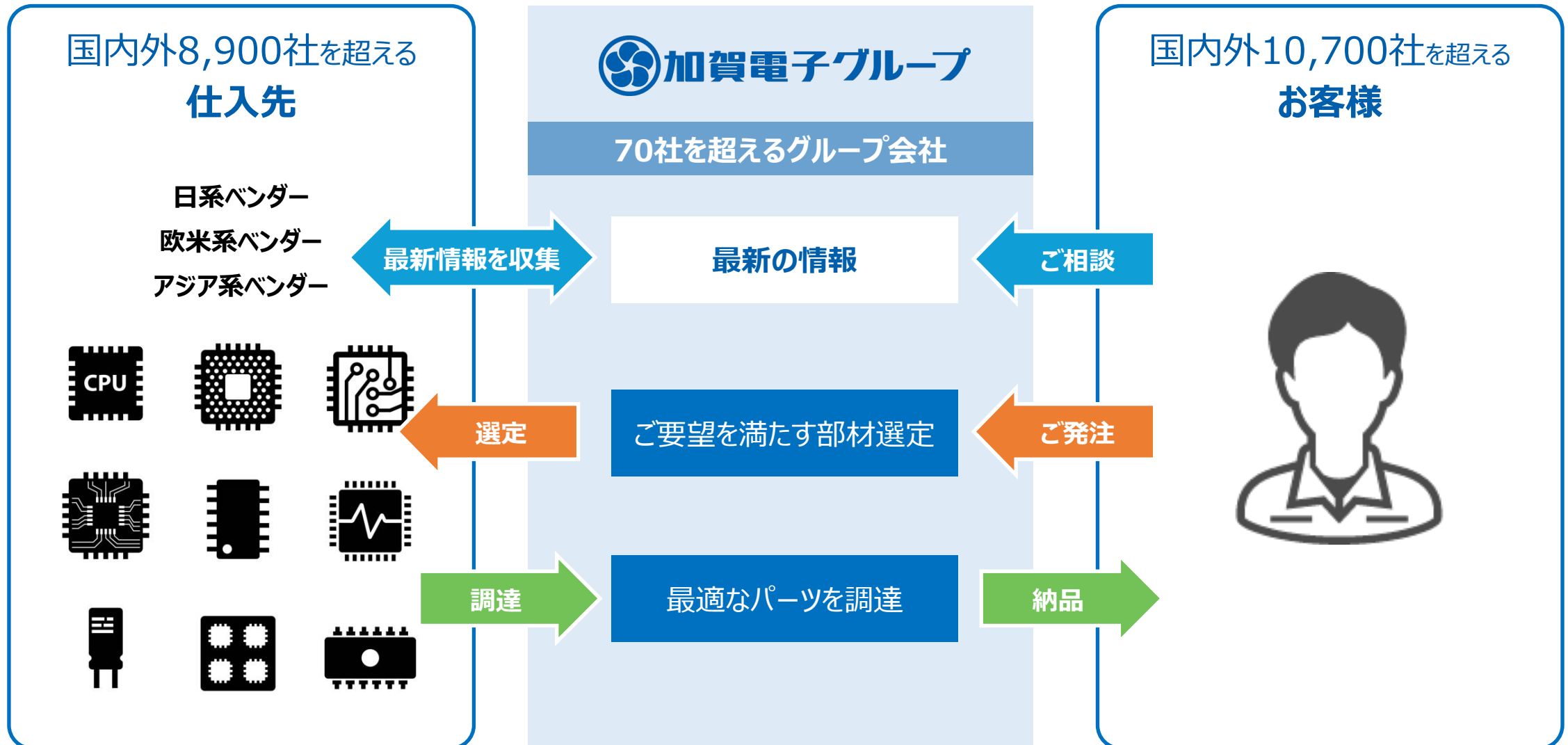
# 電子部品事業について

---

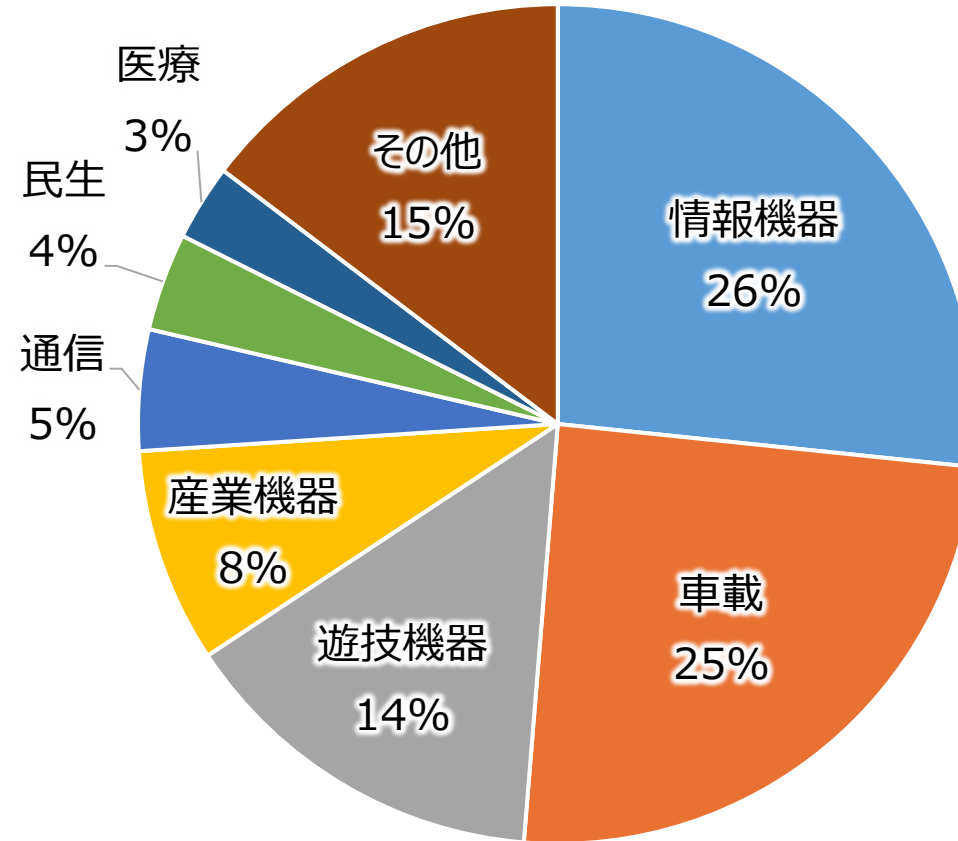
どのメーカーにも属さない「独立性」、世界中に展開する「グローバル性」、技術者チームの「専門性」が強みです。

<p>独立系の アドバンテージ</p>	<p>独立系商社だからできる調達力、 50年培った信頼とノウハウ</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 加賀電子の仕入先は国内外8,900社、お客様は10,700社を超え、直接取引しています</li><li>• 取り扱い商材に制限がない独立系商社の強みを活かし、世界中の仕入先とお客様を結びつけ、最良の品を最適な形で提供します</li></ul>
<p>グローバル ネットワーク力</p>	<p>時代を先読みする情報収集力、 多彩な領域のグループ力を駆使</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 北米、欧州、アジアなど、世界各地に70社を超えるグループ会社のネットワークを活かし、最新の知見、情報もいち早く収集し、お届けします</li><li>• 現地法人によるサポート体制も万全。ご希望の地域でご要望にお応えします</li></ul>
<p>テクニカルサポート 体制</p>	<p>経験豊富な技術者チームに任せる、 信頼から生まれる万全の体制</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 最新技術に精通したFAE（フィールドアプリケーションエンジニア）が、実績に裏打ちされた信頼とともに最適な製品をご提供します</li><li>• 情報の少ない最先端のベンチャー商品も徹底した技術サポートで安心してご利用いただけます</li></ul>

グループネットワークを活用した最先端の情報網・部材調達体制で、お客様に最適な解決策をお届けします。



売上高：3,477億円



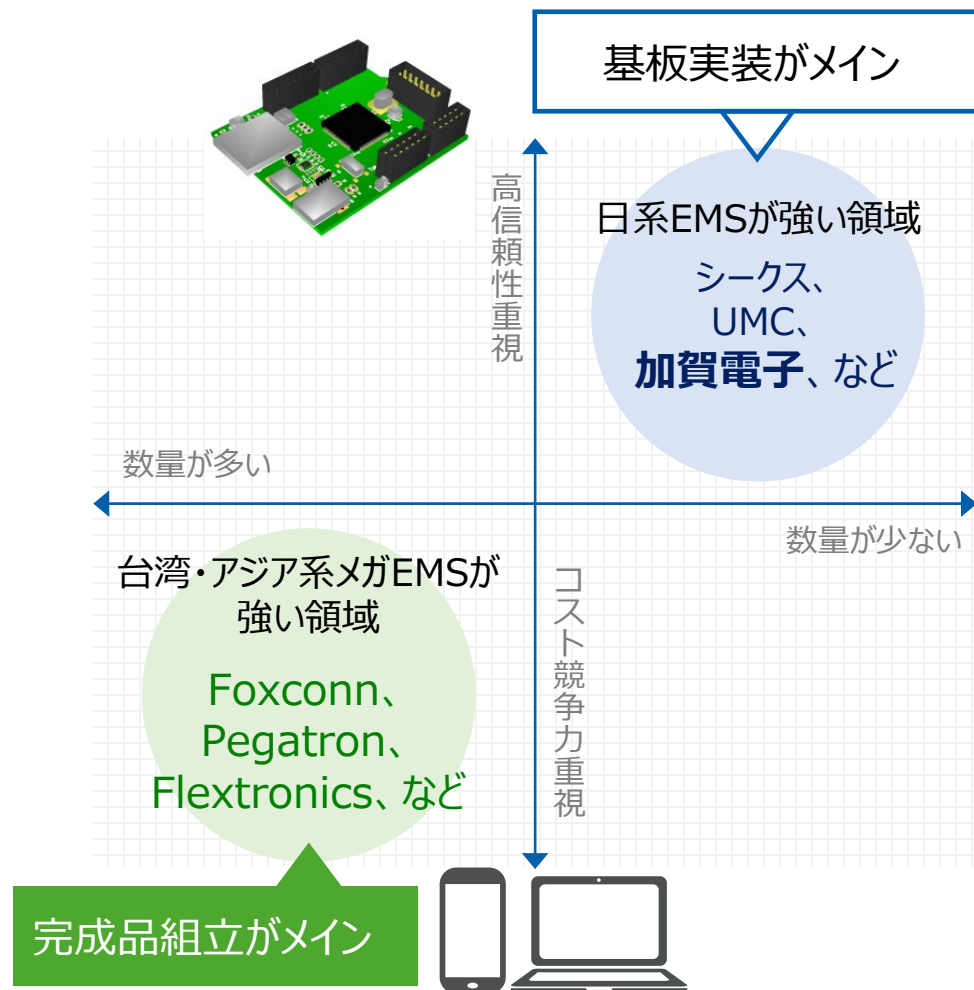
2025年3月期

# EMS事業について

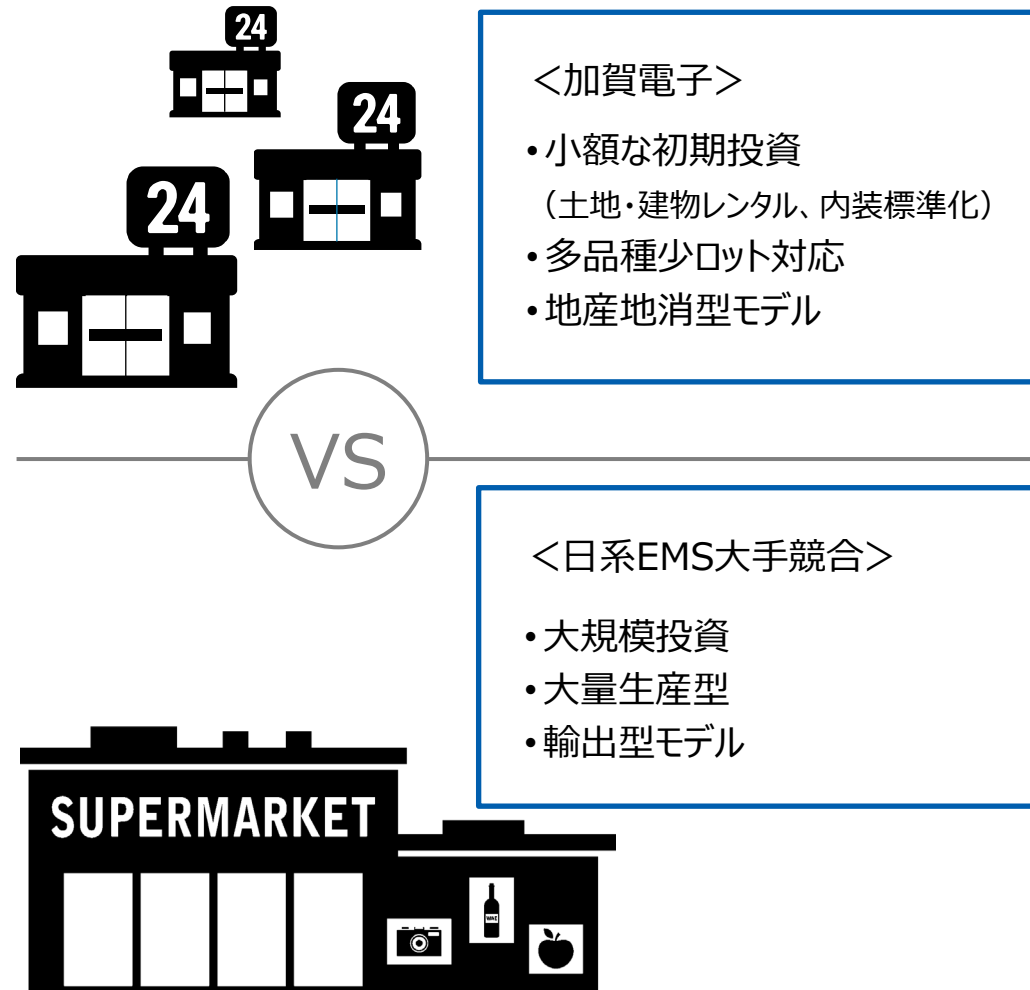
---

加賀電子はお客様にとって便利で価値ある「コンビニ型EMS」をグローバルに展開しています。

## 日系EMS vs 台湾・アジア系EMS



## コンビニ型EMS vs GMS型EMS



十和田パイオニア(株) (現加賀EMS十和田) 買収により、エレクトロニクス専門メーカーとして長年培ってきた「ものづくり」のノウハウ、優秀な生産系人財と生産設備、治具設計、品質保証体系など有形無形の資産を共有することで、EMS事業の品質レベルの一層の向上、競合他社との競争優位性を強化します。

そして、同社を“マザー工場”と位置付け、海外拠点との連携、全体最適化を推し進め、経営体質の強化と事業効率の向上を図ります。

## 加賀EMS十和田



### 工場概要

本 社 : 青森県十和田市元町東一丁目15-1

従業員数 : 195名

【第1工場】

敷地面積 22,363m<sup>2</sup>

建屋面積 10,719m<sup>2</sup>

【第2工場】

敷地面積 7,201m<sup>2</sup>

建屋面積 2,545m<sup>2</sup>

### 主な生産品目

電子基板の実装、電子機器の組立・検査

- ◆ 車載関連
- ◆ 医療機器関連
- ◆ 民生・産業機器関連、食品加工機器関連、他

### 買収時期

2019年10月

2024年4月、当初予定通りメキシコ新工場が操業開始。今後ますます増大が見込まれる北米市場ならびに中南米市場向け生産需要に対応し、5年後には「売上高500億円」を目指します。

さらに、メキシコ新工場の隣接区画に完成品組立工場『TAXAN-SWE MEXICO』を新設、基板実装に加えて部品成型・板金加工を含めた「一貫生産体制」を確立します。

## TAXAN MEXICO S.A. DE C.V.



### 工場概要

所在地 : サンルイスポトシ州 アロヨスミレニウム工業団地  
従業員数 : 700人 (操業開始時点)  
敷地面積 : 80,000㎡  
建屋面積 : 20,000㎡  
投資予定額 : 5年で約50億円 (土地、建物取得費含む)

### 主な生産品目

車載用照明ユニット組立て、空調機器用電装基板組立て、など

### 操業開始

2024年4月

日本を起点に、中国、アセアン、欧州、米州まで、世界5極にグローバル展開する生産工場を活用し、お客様のご希望に合わせた地域で生産できる体制を整えています。製品の設計開発、多品種少量生産、半完成品から完成品まで柔軟に対応できるトータルサポート体制を実現しています。

## 中国：港加賀電子（深圳）有限公司



### 概要

設立：1999年  
従業員数：1,275名

### 生産品目

車載関連製品・産業機器・  
事務機器・アミューズメント  
機器・通信機器向け基板実装

## アセアン：KAGA ELECTRONICS (THAILAND)



### 概要

設立：2002年  
従業員数：907名

### 生産品目

車載関連製品・事務機器・  
空調機器・産業機器向け基板  
実装

## 欧州：KD TEC TURKEY



### 概要

設立：2018年  
従業員数：265名

### 生産品目

空調機器向け電装ユニットの  
組立および電動工具・車載関  
連製品向け基板実装

## アセアン：KAGA (SINGAPORE) ELECTRONICS



### 概要

設立：1994年  
従業員数：14名

### 生産品目

電子・電気機器用プリント基板  
の表面実装  
※2026年4月稼働開始予定

中国大手設備メーカーと合併で、製造設備の開発/設計/製造を行うことで、圧倒的なコスト競争力に加えて、高品質で高信頼性な基板実装のトータルソリューションをお客様にご提供します

## ① はんだ印刷機



クリーム状のはんだペーストをプリント基板に印刷する装置

## ② 挿入実装機



表面実装では対応できない穴開け部品などを、ウェーブはんだ付けで実装する装置

## ③ リフロー炉



コンベアで基板を水平に搬送、熱風で加熱し、はんだペーストを溶融・固化させる装置



## ④ はんだ印刷検査装置



はんだ量やズレを3D測定し、不良を未然に防ぐ装置

## ⑤ 表面実装機



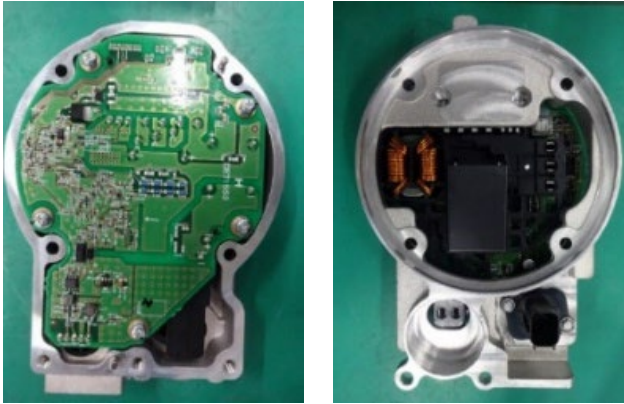
プリント基板上に、微小な電子部品を高速・高精度で自動的に実装（搭載）する装置

## ⑥ 外観検査装置



はんだ付けの不良（ブリッジ、はんだ不足など）がないか、光学式に自動検査する装置

## 電動コンプレッサユニット



## 車載用照明ユニット



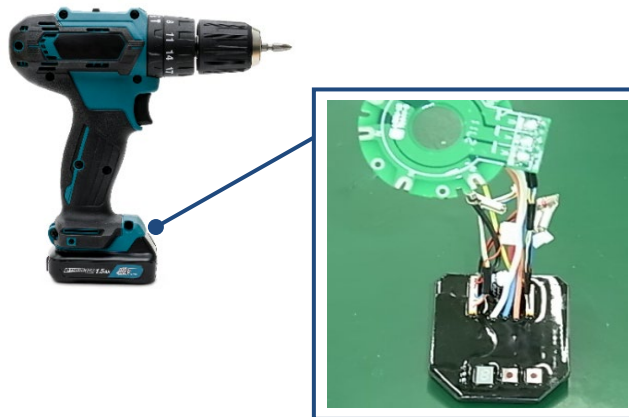
## 医療機器ユニット（薬保管キャビネット）



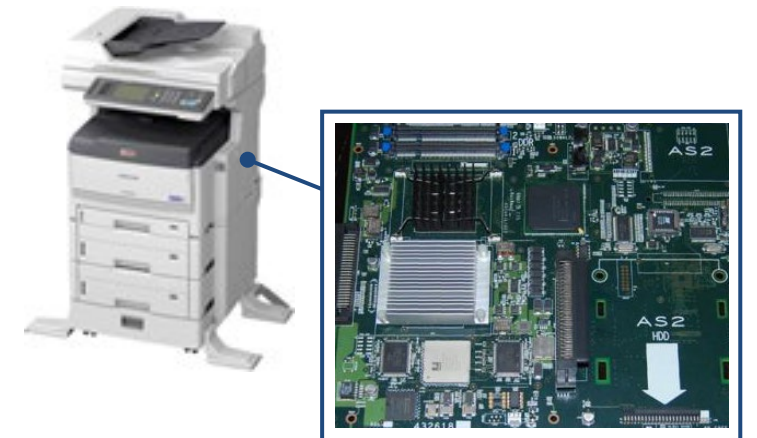
## 空調関連機器



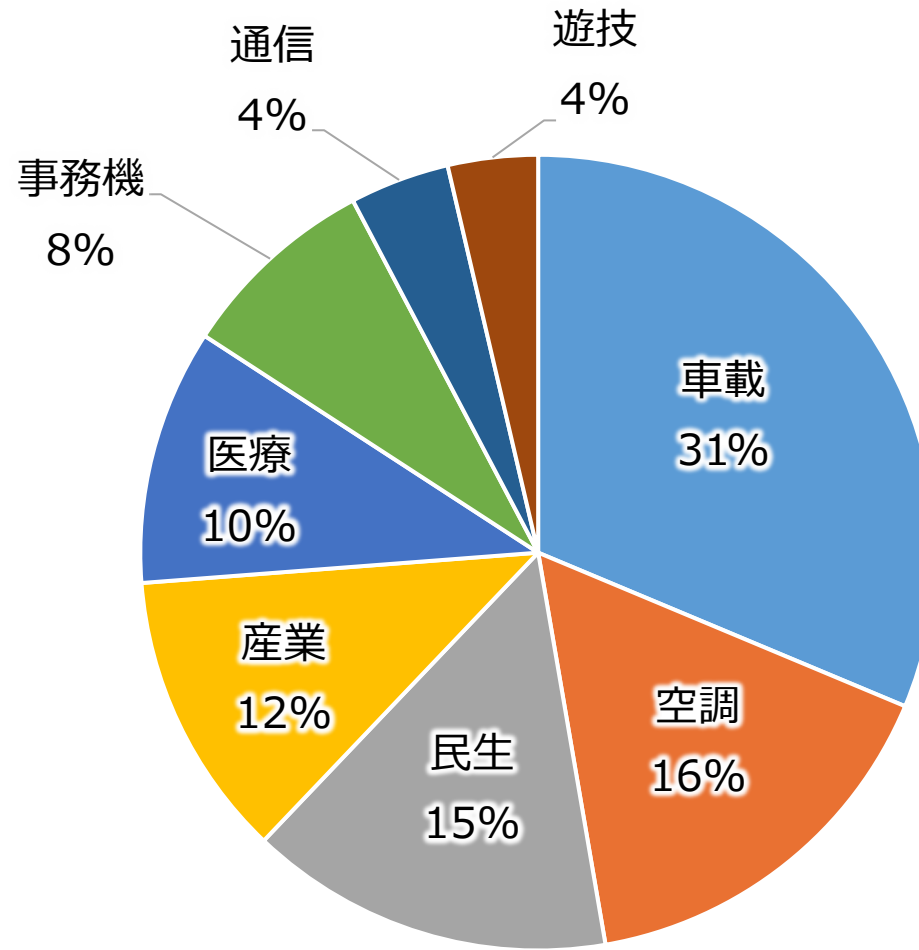
## 電動工具関連製品



## 事務機器



売上高：1,345億円



2025年3月期

# 『中期経営計画 2027』について

---

## 『中期経営計画 2027』（2025年度～2027年度）

「収益性と資本効率を重視した経営により、企業価値を高める」

更なる収益力の向上

経営基盤の高度化

SDGs経営の推進

創業60周年  
(2028年度)

“グローバル競争に勝ち残る世界に通用する企業”  
“我が国業界No.1企業”

売上高 **1兆円**

既存事業の成長の上に、新規事業の創出・獲得や  
M&A・パートナーシップ拡大による収益成長

売上高  
**8,000**億円以上

中核事業の成長・拡大による収益成長

売上高  
**7,000**億円以上

商社ビジネスの拡大をEMSビジネスの成長につなげる



商社ビジネスの  
規模拡大



EMSビジネスに  
よる  
高付加価値化

## 基本方針

収益性と資本効率を重視した経営により、企業価値を高める

重点施策		主なアクションプラン
更なる収益力の向上	中核事業の拡大	■ 事業ポートフォリオマネジメントの実践
	M&Aへの挑戦	■ 「2028年度1兆円」に向けて、1,000億円超の新たな事業収益を獲得
	新規事業の創出	■ 「エネルギー」「インフラ」「交通」「環境」を重点テーマとして新規事業を探索
経営基盤の高度化	資本戦略の実践	■ 戦略的なキャッシュアロケーションと積極的な株主還元
	人的資本への投資	■ 人事諸制度の改革（海外人財育成、人材多様化促進、など）
SDGs経営の推進	ESG経営課題への対応加速	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 環境：カーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギー100%化推進</li> <li>■ 社会：女性活躍推進、働き方改革、従業員エンゲージメント</li> <li>■ 統治：「女性取締役」「監査等委員会設置会社」の実現（2025年6月実施済）</li> </ul>

	前中計最終年度 (2024年度実績)	中計最終年度 (2027年度)	CAGR
1兆円を視野に 3年後に目指す 経営目標	売上高	8,000億円以上	
	営業利益	360億円以上	
オーガニック成長 による収益目標	売上高	7,000億円以上	8.5%
	営業利益 (営業利益率)	350億円以上 (5.0%)	14.0%
資本効率性の 指標	ROE [[参考]株主資本コスト]	12.0%以上 [10%前後]	

# <補足>事業セグメント別の内訳

		前中計最終年度 (2024年度実績)	中計最終年度 (2027年度)	CAGR
電子部品事業	売上高	3,477億円	4,000億円	4.8%
	セグメント利益	102億円	165億円	17.4%
EMS事業	売上高	1,345億円	2,300億円	19.6%
	セグメント利益	73億円	135億円	22.7%
CSI事業	売上高	426億円	550億円	8.9%
	セグメント利益	33億円	40億円	6.6%
その他事業	売上高	228億円	150億円	-
	セグメント利益	15億円	10億円	-
合計	売上高	5,477億円	7,000億円	8.5%
	セグメント利益	236億円	350億円	14.0%

**基本的な考え方** ▶ 独立系エレクトロニクス総合商社として、部品調達に留まらず、半完成品/完成品の生産受託、販売からアフターサービスまで、ワンストップサービスの強みを最大化する

	加賀電子	加賀FEI	エクセル	売上高 (億円)
電子部品事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>業界トップクラスの顧客関係力と調達力の強みをベースに、“加賀電子流”営業に拘る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SoC商材を中核に、ラインカードの拡充を進め、ラージ アカウントを中心とした拡販 戦略を加速する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加賀電子商材のクロスセルを通じて、“エレクトロニクス 総合商社”へ変容</li> </ul>	25/3期  3,477 28/3期 <b>4,000</b>
EMS事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル5 極生産体制による顧客密着の「地産地消型」EMS事業を展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計段階から関与するE2MSを加速</li> <li>開製販一体運営の小型無線モジュール事業を拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスプレイ商材の強みを活かした交通インフラ系B2B顧客を開拓</li> </ul>	25/3期  1,345 28/3期 <b>2,300</b>
CSI事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>「量販店」「学校・教育機関」など販売チャンネルの強みを活かして情報機器製品・サービスを展開</li> </ul>			25/3期  426 28/3期 <b>550</b>
その他事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>「利益重視の経営」を徹底し、規模拡大より“儲かるビジネス”に集中</li> </ul>			25/3期  228 28/3期 <b>150</b>
売上高 (億円)	25/3期  3,195 28/3期 <b>4,000</b>	25/3期  1,978 28/3期 <b>2,600</b>	25/3期  303 28/3期 <b>400</b>	25/3期  5,477 28/3期 <b>7,000</b>

## 基本的な考え方

日本を起点として世界 5 極をカバーするグローバル生産体制のもと、お客様のものづくりに寄り添い、各市場に根ざした「地産地消型」のEMS事業を展開する

1970年代より日本・中国にて協力工場を活用し、顧客要望に応じて「加工取引(現在のEMS事業)」を開始。  
1990年代以降は、日系顧客の海外生産シフトに迅速に対応、深圳を皮切りに自社工場を順次展開し世界10カ国に21拠点を構える。

	1990年代	2000年代	2010年代	2020年以降	主要施策	注力分野	売上高 (億円)	
<b>日本</b>		ハイマン電子譲受 現山形工場('02)	十和田パナソニック譲受、 福島に工場建設('19)	旭東電気(鳥取)を 子会社化('20)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内生産回帰の顧客需要取り込み</li> <li>マザー工場として標準化・高度化の展開</li> </ul>	<b>車載・空調 医療機器 など</b>	25/3期 350	<b>28/3期 800</b>
<b>中国</b>	深圳('99)	蘇州(2工場) ( '09)	孝感(湖北)('15)		<ul style="list-style-type: none"> <li>中国ローカル顧客開拓およびグループ内最適地での生産支援</li> <li>自動化設備の開発および販売強化</li> </ul>	<b>車載・ 産業機器</b>	25/3期 470	<b>28/3期 550</b>
<b>アジア</b>		タイ('02) マレーシア('00)	ベトナム('17) インド('18) インドネシア('14)	タイ第2('19) マレーシア新工場('22) タイ第3('25) シンガポール新工場('26)	<ul style="list-style-type: none"> <li>インド国内及び輸出向け需要増を見据えた自社工場投資</li> </ul>	<b>車載・空調 情報機器 など</b>	25/3期 380	<b>28/3期 500</b>
<b>欧州</b>		チェコ('09)	トルコ('18)	トルコ新工場('23)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日系顧客の消費地生産需要増の取り込み</li> <li>欧州ローカル顧客の開拓</li> </ul>	<b>空調・産業機器 通信機器 など</b>	25/3期 70	<b>28/3期 100</b>
<b>米州</b>			メキシコ('17)	メキシコ新工場('24)	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国向け及び南米向け需要増も見据えたメキシコ第2期工場投資</li> </ul>	<b>空調・車載 医療機器 など</b>	25/3期 75	<b>28/3期 350</b>

## 基本的な考え方

企業価値の向上に向けて、財務規律を維持しつつ、  
創出したキャッシュは「成長投資」と「株主還元」に積極的に配分する

2025年度～2027年度累計



キャッシュイン



キャッシュアウト

## 主な用途

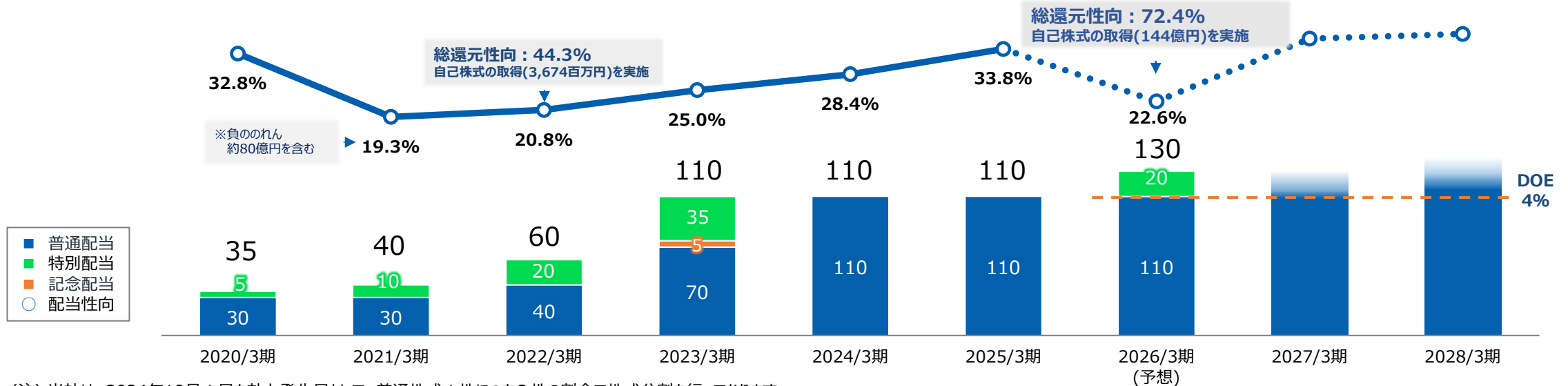
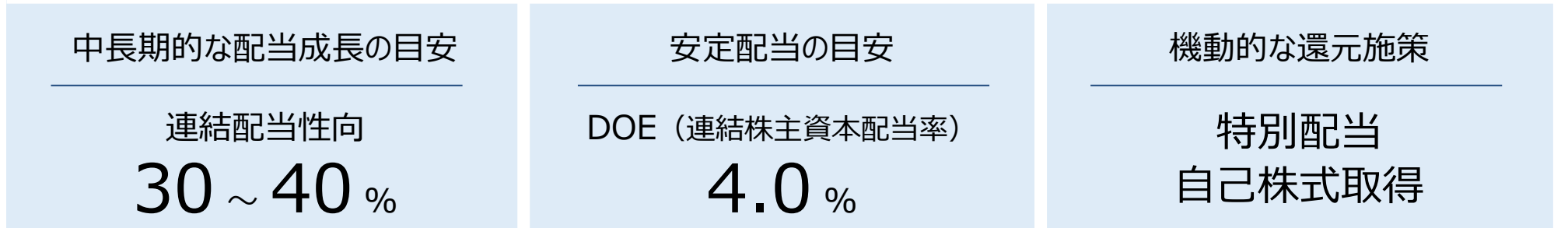
- 新規M&A
- EMS生産能力増強
- DX投資
- 人的資本投資、など

不要になった場合は、株主還元へ

累計220-300億円規模の  
「株主還元」を実施

- 配当性向：30~40%
- DOE：4%

- 株主の皆様に対してより積極的に配当を実施する観点から、「連結配当性向30~40%」に引き上げ、中長期的な利益成長を通じた配当成長に努める。
- 普通配当については、安定的かつ継続的な配当の目安として、「DOE4.0%」を新たな指標とする。
- 利益水準や資本効率性に応じた追加施策として、特別配当や自己株式取得を機動的に実施する。



(注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。配当金額は、分割日以前についても当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

『サステナビリティ中長期経営計画』で策定した定量目標の達成を目指しながら、持続可能な社会の実現に積極的な役割を果たすとともに、企業価値の持続的成長に取り組む。

	主なテーマ	代表的なKPI
<b>環境</b> クリーンな地球環境を作る	再生可能エネルギー100%化の実現	■ 国内営業拠点:2030年、国内外生産拠点:2050年
	社有車両のEV化	■ 国内営業車両:2030年100%
	CO2排出量削減	■ 2030年度[Scope1+2:▲42%、Scope3:▲25%]
<b>社会</b> 働きやすい会社、豊かな社会を作る	ダイバーシティと人財マネジメント	■ 女性管理職比率:2029年17%
	ワークライフマネジメントと生産性向上	■ 健康経営優良法人認定の継続取得
<b>統治</b> 持続可能な経営基盤を作る	東証改革に対応したガバナンス体制	■ 女性社外取締役選任を早期実現
	経営の監督/執行機能の一層強化	■ 監査等委員会設置会社への早期移行

- 企業価値の更なる向上を目指し、初年度からスピードを上げて中計で定めた重点施策に取り組む。

重点施策	主なコーポレートアクション					
M&Aへの挑戦	■ 協栄産業(株)の買収：2025年7月					
	TOBにより連結子会社化。買収価額107億円。負のれん発生益76億円を計上					
資本戦略の実践	■ 総額144億円、492万株（発行済株式の9.4%）の自己株取得・消却：2025年8月					
	主力取引銀行4行が保有する当社普通株式を全株取得し、全株消却を実施					
足元業績の進展	■ 順調な業績進捗、期中3度の上方修正：2025年8月、11月、2026年2月					
		2025年3月期 実績 2025/5/14公表	2026年3月期 当初予想 2025/5/14公表	前々回予想 2025/8/7公表	前回予想 2025/11/6公表	今回予想 2026/2/12公表
	(百万円)					
	売上高	547,779	530,000	574,000	595,000	620,000
	営業利益	23,601	23,000	24,000	25,500	27,000
	経常利益	22,593	23,000	23,800	25,500	28,000
	負のれん発生益	-	-	7,200	7,200	7,600
親会社株主に帰属する当期純利益	17,083	16,500	24,200	26,000	28,500	
ROE	10.8%	10.0%	14.6%	15.0%	16.5%	

## 協栄産業の概要

- 名称 協栄産業株式会社
- 代表者 代表取締役社長 平澤 潤
- 所在地 東京都品川区東品川4-12-6
- 事業内容 販売：半導体、電子デバイス、産業機器、情報通信機器、3Dプリンター、プリント配線板 など  
開発：ソフトウェア、アプリケーション、システムソリューション、エンベデッドシステム、ICデザイン など  
製造：情報通信機器 など

## 買収の狙い

- 半導体デバイス：重複しない製品を相互補完、当社が持つEMSネットワークを活用した付加価値創出
- 産業機器システム：当社のグローバルな対応力を活用してインドなど海外市場で販売拡大
- システム開発：当社の有するアセット（ハード、ソフト）と組み合わせ、ソリューション提案を拡大

## 買収のスキーム

- ① 2025年 7月18日：TOBにより協栄産業普通株式45.16%を取得。  
**既保有株と併せた持ち分は54.48%となり、連結子会社化**
- ② 2025年10月16日：株式併合により、TOB不応募の一般株主保有株（27.16%）を買取り、**上場廃止**
- ③ 2025年11月 7日：三菱電機保有株（558,958株）を全株取得し、**100%子会社化**

## 買収金額

- ①～③を合わせて、総額約107億円

## 産業機器システム事業

FA（機器、加工機、ロボット）、自動化システム、空調冷熱機器、3Dプリンタを販売

### 加工機&ロボットソリューション



ワイヤー放電加工機



ファイバーレーザー加工機



産業ロボット

### 搬送ロボットソリューション



Geek製『ムービングシステム』



無人搬送車『サウザー』



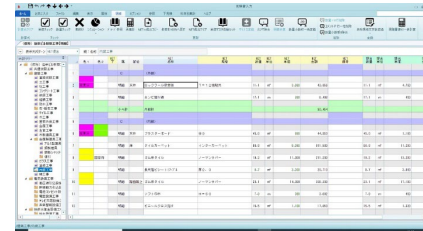
FEXA製『自律走行型搬送ロボット』



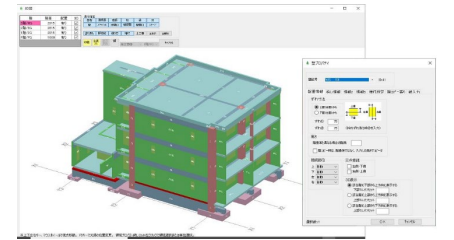
## システム開発事業

建設、タクシー、流通業界に特化したシステム開発、システムインテグレーション、受託開発を実施

### 建設DXを推進する高性能・高品質なパッケージソフト



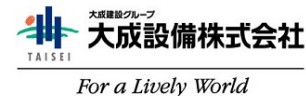
見積書作成システム「KYOEI COMPASS 2.0」



RC数量積算システム「FKS RC 2.0」

### 業界を熟知した技術者が提案するオーダーメイドソフト

#### 開発事例



大成設備株式会社様

管理資料作成業務支援ツール

#### 導入事例



新日本建設株式会社様

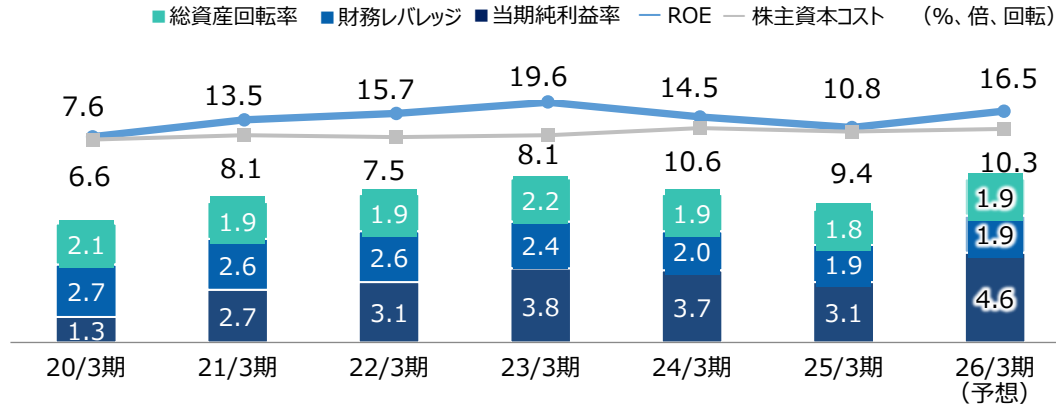
「高精度・スピード・汎用性」を兼ね備えた積算・見積ソフト



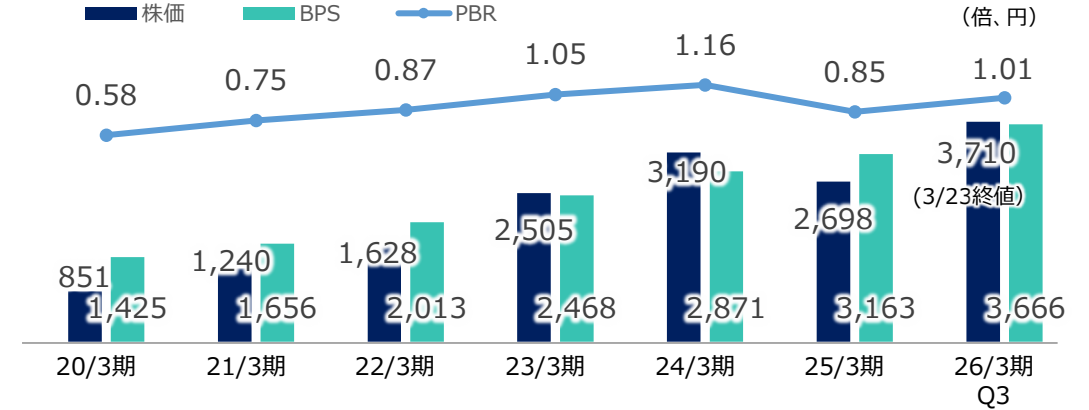
大末建設株式会社様

建設現場コスト管理一貫システムの構築

## ROEの推移



## PBRの推移



### 現状認識

- ROEは、二桁%を維持し資本コストを上回る水準も、直近2年は漸減傾向となる。
- PBRは、前中計期間から改善傾向が顕著となり、23年2月以降は1倍超の水準で推移した。24年8月の東証株価大暴落からの戻り鈍く、1倍を切った状況が続いたが、Q1発表以降1倍を回復。

### 今後の取り組み

- |                   |  |
|-------------------|--|
| 1. 中期経営計画の着実な実行   | ■ 中期経営計画に沿って事業成長と収益性の向上に取り組み、経営目標の実現を目指す。              |
| 2. 株主満足度の向上       | ■ 「連結配当性向30~40%」へ引き上げ、安定的かつ継続的な配当の目安として「DOE4.0%」を設定する。 |
| 3. SDGs経営の推進      | ■ Scope1~3でGHG排出量削減目標を策定・公表し、CDP・TCFDなど外部機関による評価向上を図る。 |
| 4. 積極的なIR活動の維持・強化 | ■ 資本市場への開示拡充や積極的な対話を通じて、当社経営に対する信頼性を一層高め、資本コストの低減を図る。  |

(注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年10月1日以前の株価、BPSについても当該株式分割調整後の金額を記載しています。

# 2026年3月期 Q3決算について

---

## 2026年3月期 Q3 (4-12月) 実績

	売上高	営業利益	四半期純利益
Q3 実績	<b>4,454</b> 億円	<b>194</b> 億円	<b>243</b> 億円
前年同期比	+492億円 (+12.4%)	+13億円 (+7.7%)	+115億円 (+91.2%)

- 売上高から純利益までの**全ての段階利益で前年同期比「増収増益」**
- 売上高 : 電子部品事業 (EMSビジネス)、情報機器事業 (パソコン販売、ソフト販売) が好調、その他事業 (アミューズメント機器販売) は堅調に推移。Q2 (7-9月) から協栄産業を連結化
- 営業利益 : **増収による粗利増および販売ミックス改善による粗利率良化により、前年同期比増益**
- 当期純利益 : 協栄産業連結化に伴う「負ののれん発生益 (約76億円)」を計上

## 2026年3月期 業績予想

	売上高	営業利益	当期純利益
今回予想	<b>6,200</b> 億円	<b>270</b> 億円	<b>285</b> 億円
前回予想比	+250億円 (+4.2%)	+15億円 (+5.9%)	+25億円 (+9.6%)
前年比	+722億円 (+13.2%)	+33億円 (+14.4%)	+114億円 (+66.8%)

- 順調なQ3までの業績進捗および足元でのスポット需要を織り込み、**今期三度目となる上方修正**
- 需給が逼迫する一部半導体製品への対応を開始。今回修正には1月確定分のみ反映

## 株主還元

- **業績修正を踏まえ、期末配当を10円増配し70円、年間配当は1株当たり130円 (前期比+20円)**  
※2024年10月に株式分割 (1:2) を実施。前期比20円増配は、分割調整後の年間配当金として算出

# 2026年3月期Q3 業績ハイライト



(単位：百万円)	Q3実績 (4-12月)					通期業績予想 (2025/11/6公表)		
	FY2025/3	構成比	FY2026/3	構成比	前年同期比	FY2026/3	構成比	進捗率
売上高	396,243	100.0%	<b>445,475</b>	100.0%	12.4%	595,000	100.0%	74.9%
売上総利益	52,190	13.2%	<b>59,961</b>	13.5%	14.9%	—	—	—
販売費及び一般管理費	34,134	8.6%	<b>40,511</b>	9.1%	18.7%	—	—	—
営業利益	18,056	4.6%	<b>19,449</b>	4.4%	7.7%	25,500	4.3%	76.3%
経常利益	18,379	4.6%	<b>20,766</b>	4.7%	13.0%	25,500	4.3%	81.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,714	3.2%	<b>24,308</b>	5.5%	91.2%	26,000	4.4%	93.5%
EPS (円)	241.97	—	<b>485.11</b>	—	100.5%	524.78	—	—
為替レート 円/US\$	152.57	—	<b>148.74</b>	—	—	140.00	—	—

(注) : 1. 為替による影響額は、売上高が△4,046百万円、営業利益が△74百万円です。  
 2. 2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
 前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「EPS (1株当たり四半期純利益)」を算出しております。

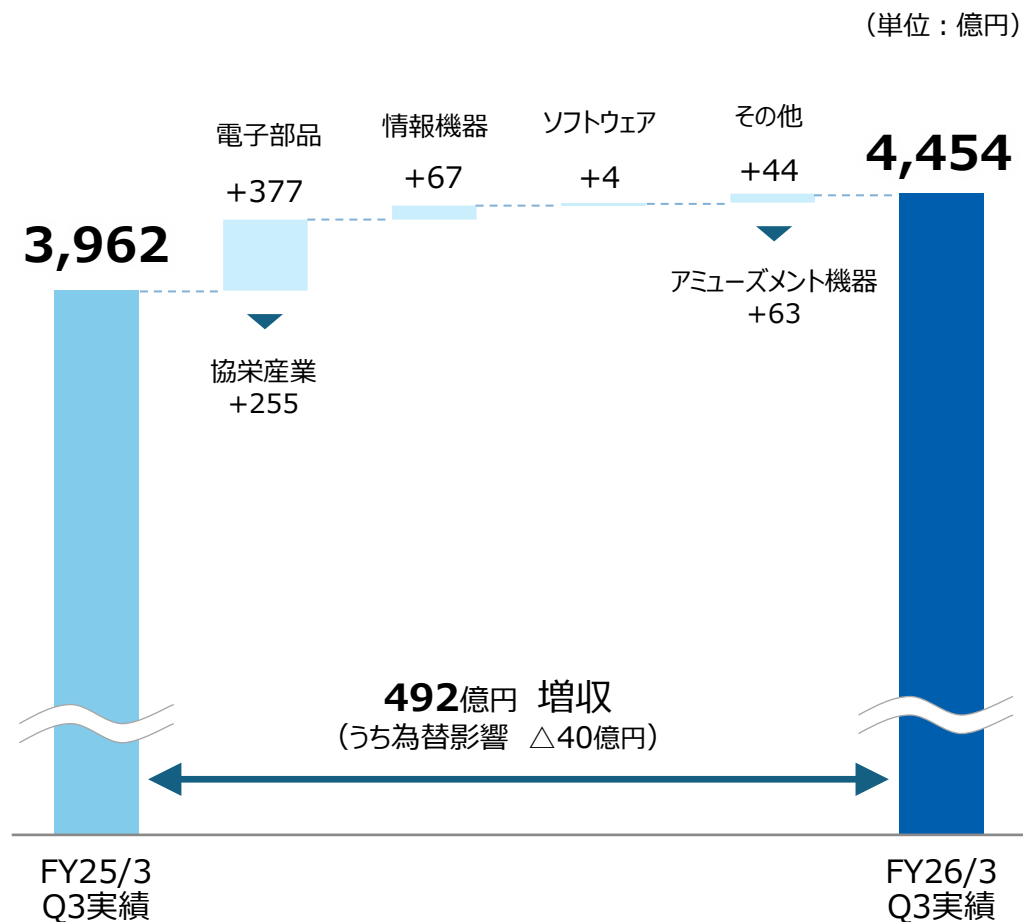
# 2026年3月期Q3 セグメント別業績

(単位：百万円)		Q3実績 (4-12月)				通期業績予想 (2025/11/6公表)			
		FY2025/3	利益率	FY2026/3	利益率	前年同期比	FY2026/3	利益率	進捗率
電子部品	売上高	346,212		<b>383,892</b>		10.9%	516,500		74.3%
	セグメント利益	13,568	3.9%	<b>13,768</b>	3.6%	1.5%	18,500	3.6%	74.4%
情報機器	売上高	26,953		<b>33,652</b>		24.9%	45,000		74.8%
	セグメント利益	1,953	7.2%	<b>2,499</b>	7.4%	28.0%	3,500	7.8%	71.4%
ソフトウェア	売上高	2,070		<b>2,525</b>		22.0%	3,500		72.2%
	セグメント利益	308	14.9%	<b>233</b>	9.3%	△24.2%	500	14.3%	46.8%
その他	売上高	21,006		<b>25,404</b>		20.9%	30,000		84.7%
	セグメント利益	2,097	10.0%	<b>2,747</b>	10.8%	31.0%	3,000	10.0%	91.6%
合計	売上高	396,243		<b>445,475</b>		12.4%	595,000		74.9%
	セグメント利益	18,056	4.6%	<b>19,449</b>	4.4%	7.7%	25,500	4.3%	76.3%

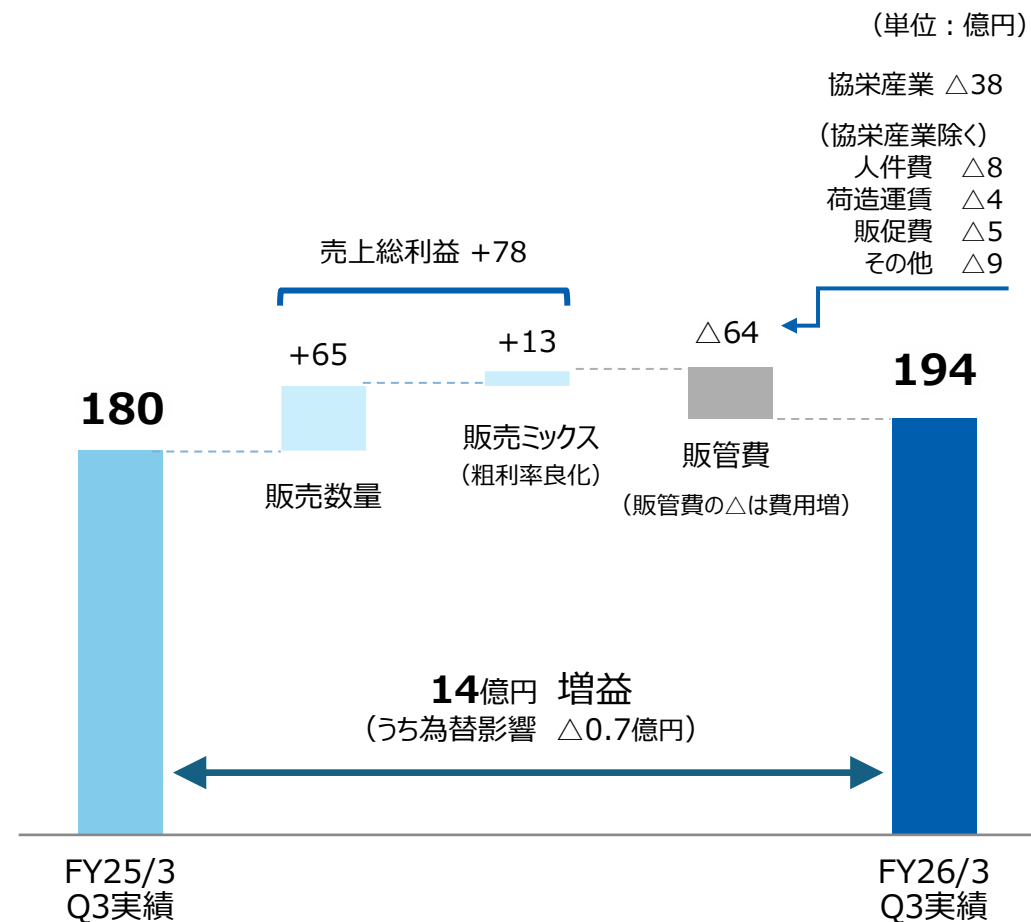
(注)：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

# 2026年3月期Q3 売上高/営業利益 変動要因 (項目別)

## 売上高



## 営業利益

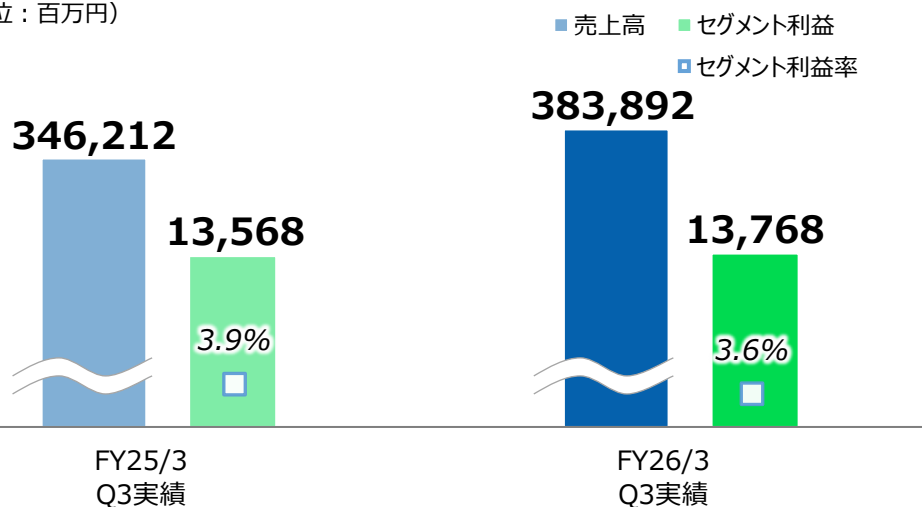


## Q3実績（4-12月）

(単位：百万円)	FY2025/3	FY2026/3	前年同期比	
売上高	346,212	<b>383,892</b>	+37,679	10.9%
セグメント利益	13,568	<b>13,768</b>	+199	1.5%
利益率	3.9%	<b>3.6%</b>	△0.3pt	

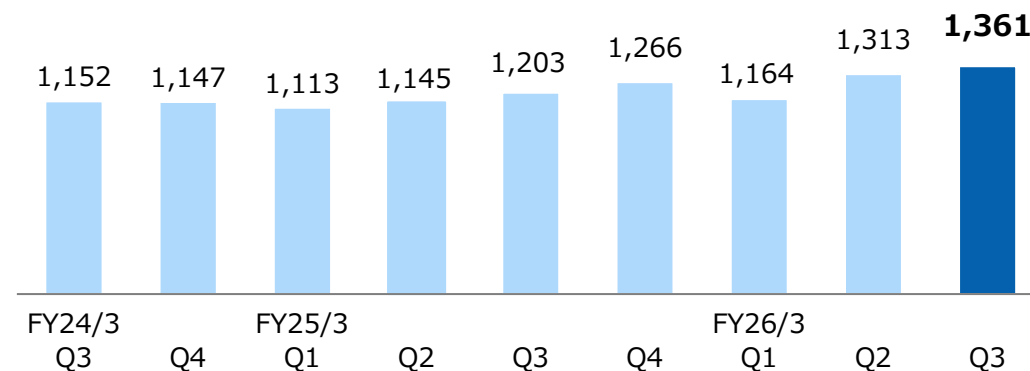
## 売上高・セグメント利益

(単位：百万円)



## セグメント売上高（四半期推移）

(単位：億円)



## 主な増減要因

部品販売  
ビジネス

- (+) Q2（7-9月）より協栄産業を連結化
  - (+) 在庫調整は解消傾向
  - (-) 一部半導体製品において需給逼迫および価格高騰
- これらの結果、前年同期比で「増収増益」

EMS  
ビジネス

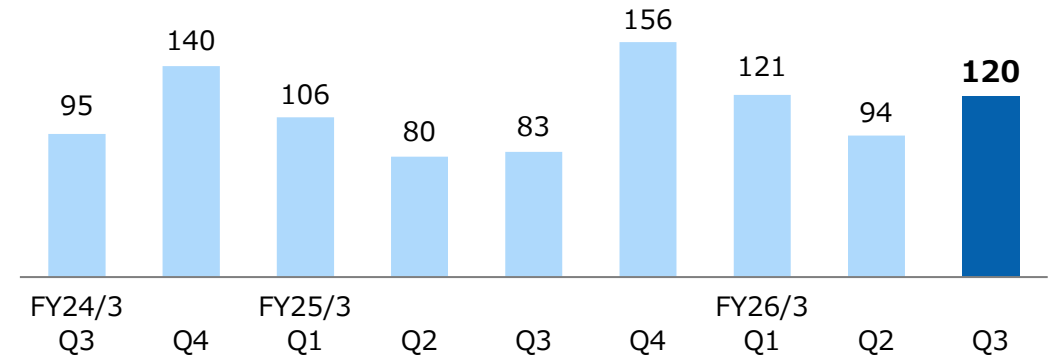
- (+) 医療機器向け、空調機器向けが好調
  - (+) 事務機向けは回復傾向
  - (-) 車載向け一部顧客で需要減
- これらの結果、前年同期比で「増収増益」

## Q3実績（4-12月）

(単位：百万円)	FY2025/3	FY2026/3	前年同期比	
売上高	26,953	<b>33,652</b>	+6,698	24.9%
セグメント利益	1,953	<b>2,499</b>	+546	28.0%
利益率	7.2%	<b>7.4%</b>	+0.2pt	

## セグメント売上高（四半期推移）

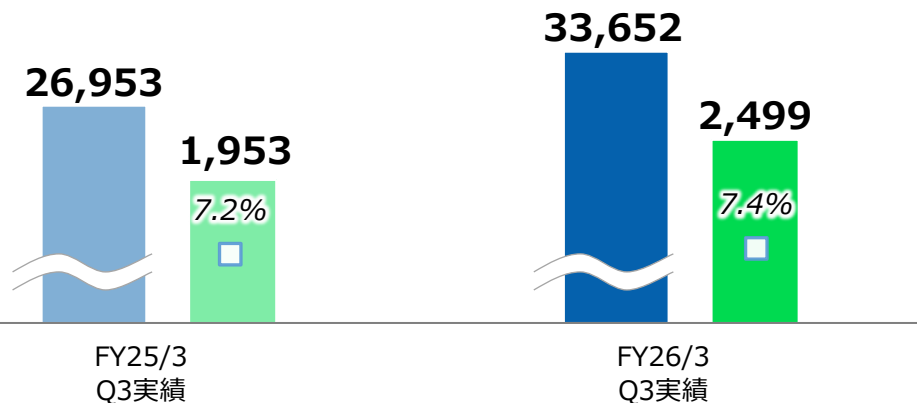
(単位：億円)



## 売上高・セグメント利益

(単位：百万円)

■ 売上高 ■ セグメント利益  
□ セグメント利益率



## 主な増減要因

パソコン販売  
ビジネス

- (+) 教育機関向けはGIGAスクール向けが好調
  - (+) 量販店向けはAIパソコンなど新製品が好調
  - (+) 携帯端末向けセキュリティソフト新製品が好調
- これらの結果、前年同期比で「増収増益」

電気・通信機器  
設置ビジネス

- (+) 大手コンビニ・金融機関向けLED工事・販売が好調
  - (+) 電気設備(太陽光パネル・受変電)工事の受注拡大
- これらの結果、前年同期比で「増収増益」

# 貸借対照表サマリー

(単位：百万円)

	2025/3末	2025/12末	前期末比 増減
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	<b>257,164</b>	<b>286,963</b>	<b>+29,798</b>
現金及び預金	80,188	82,068	+1,879
受取手形及び売掛金	114,139	118,417	+4,278
棚卸資産	51,774	74,852	+23,077
その他	11,061	11,624	+562
<b>固定資産</b>	<b>48,507</b>	<b>56,208</b>	<b>+7,700</b>
有形固定資産	28,445	31,082	+2,636
建物及び構築物	9,839	11,843	+2,003
機械装置及び運搬具	11,034	11,439	+404
工具、器具及び備品	1,217	1,273	+55
土地	5,940	6,167	+226
建設仮勘定	413	359	△53
無形固定資産	1,738	1,956	+217
ソフトウェア	1,694	1,915	+221
その他	44	40	△3
投資その他の資産合計	18,323	23,169	+4,845
投資有価証券	12,556	15,562	+3,006
破産更生債権	4,815	4,846	+31
貸倒引当金	△ 4,873	△ 4,969	△95
その他	5,825	7,730	+1,904
<b>資産合計</b>	<b>305,671</b>	<b>343,171</b>	<b>+37,499</b>

(単位：百万円)

	2025/3末	2025/12末	前期末比 増減
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>	<b>117,704</b>	<b>142,428</b>	<b>+24,723</b>
支払手形及び買掛金	73,340	84,313	+10,973
短期借入金	14,890	29,583	+14,692
一年内償還予定社債	5,000	200	△4,800
その他	24,473	28,331	+3,857
<b>固定負債</b>	<b>21,587</b>	<b>26,043</b>	<b>+4,455</b>
社債	5,000	5,300	+300
長期借入金	5,500	6,887	+1,387
その他	11,087	13,855	+2,768
<b>負債合計</b>	<b>139,292</b>	<b>168,472</b>	<b>+29,179</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	142,993	147,158	+4,165
資本金	12,133	12,133	-
資本剰余金	14,885	14,767	△118
利益剰余金	121,553	130,165	+8,611
自己株式	△5,579	△9,908	△4,328
その他の包括利益累計額合計	23,225	27,545	+4,319
非支配株主持分	160	△ 3	△164
<b>純資産合計</b>	<b>166,379</b>	<b>174,699</b>	<b>+8,320</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>305,671</b>	<b>343,171</b>	<b>+37,499</b>

# 貸借対照表主要項目

## 総資産

■ 流動資産  
■ 固定資産  
● 流動比率

(単位：百万円)

214.3%      218.5%      201.5%

**343,171**  
+37,499

307,898      305,671

260,801      257,164

47,096      48,507      **56,208**  
+7,700

2024/12末      2025/3末      2025/12末

(注): 流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100

## 負債・純資産

■ 負債合計  
■ 純資産  
● 負債比率

(単位：百万円)

88.5%      83.8%      96.4%

**343,171**  
+37,499

307,898      305,671

144,469      139,292

163,428      166,379      **174,699**  
+8,320

2024/12末      2025/3末      2025/12末

(注): 負債比率 = 負債合計 ÷ 自己資本 × 100

## 主な増減内容

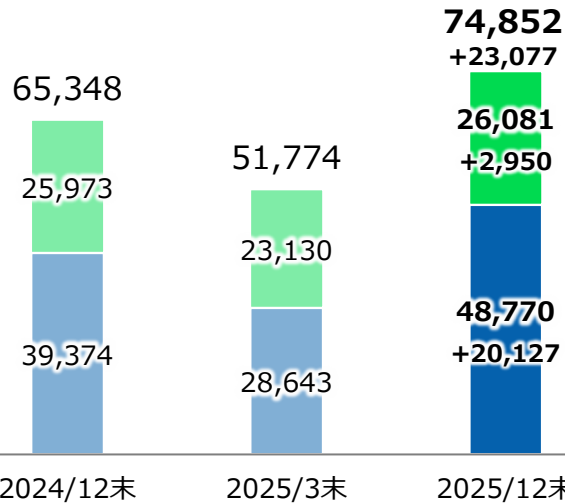
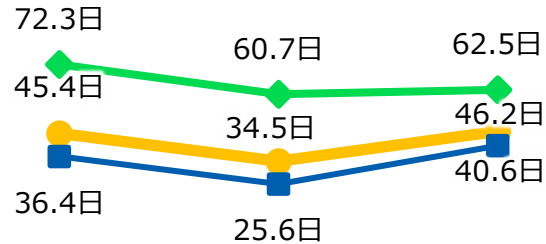
- 流動資産**  
 (+) 商品及び製品 (195億75百万円)
- 固定資産**  
 (+) 有形固定資産 (26億36百万円)  
 (+) 投資有価証券 (30億 6 百万円)
- 負債**  
 (+) 支払手形及び買掛金 (109億73百万円)  
 (+) 短期借入金 (146億92百万円)
- 純資産**  
 (+) 利益剰余金 (86億11百万円)  
 (+) 為替換算調整 (30億53百万円)  
 (-) 自己株式 (43億28百万円)

# 貸借対照表主要項目

## 棚卸資産

- 棚卸資産高 (モノづくりビジネス)
- 棚卸資産高 (商社ビジネス)
- 在庫回転日数 (全社)
- 在庫日数 (モノづくりビジネス)
- 在庫回転日数 (商社ビジネス)

(単位：百万円)

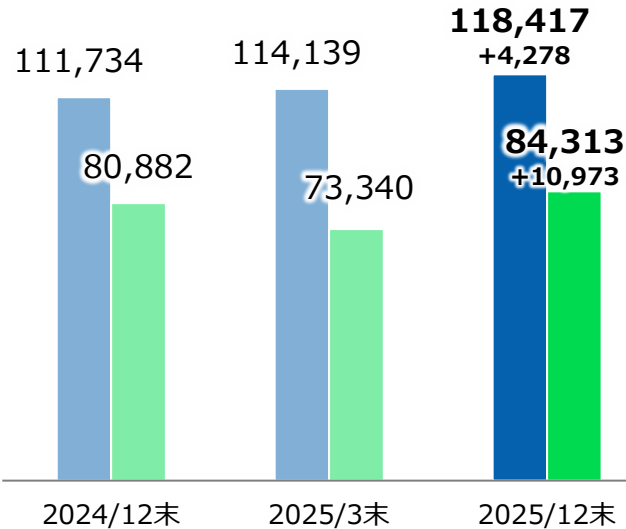
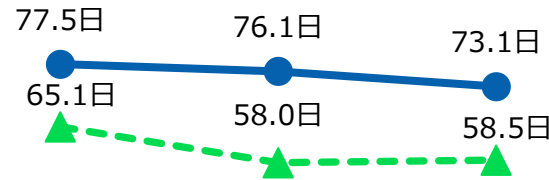


(注): 在庫回転日数 = 棚卸資産 ÷ 売上高 × 365 (12末は275日)

## 売上債権・仕入債務

- 売上債権
- 仕入債務
- 売上債権回転日数
- 仕入債務回転日数

(単位：百万円)



(注): 1. 売上債権回転日数 = 受取手形及び売掛金 ÷ 売上高 × 365 (12末は275日)  
 2. 仕入債務回転日数 = 支払手形及び買掛金 ÷ 仕入高 × 365 (12末は275日)  
 3. 受取手形及び売掛金については、電子記録債権を含めた金額となっております。  
 4. 支払手形及び買掛金については、電子記録債務を含めた金額となっております。

## 棚卸資産の概況

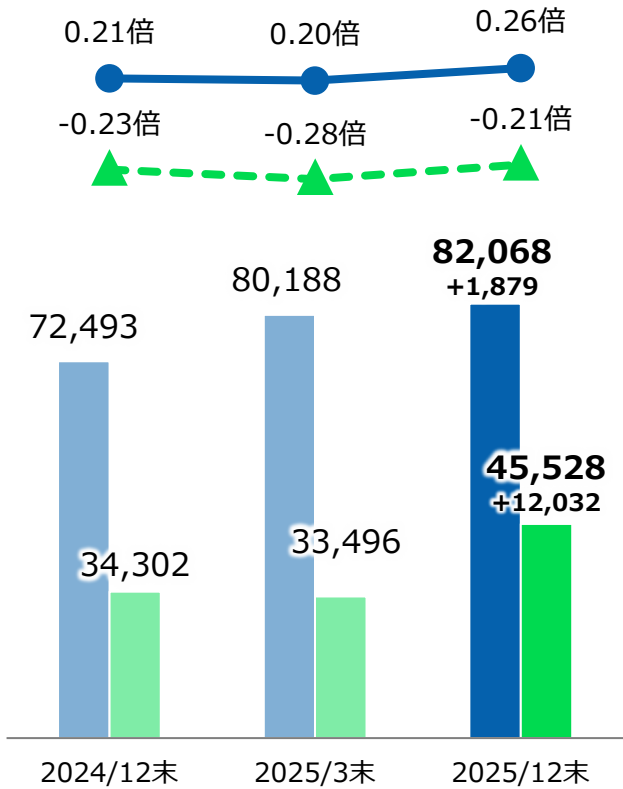
- 棚卸資産
  - ・前期末比 / +230億円、+11.7日
- 商社ビジネス
  - ・前期末比 / +201億円、+15.0日
  - うち協栄産業 +73億円
- モノづくりビジネス
  - ・前期末比 / +29億円、+1.8日
  - EMSビジネス増収に伴い在庫金額は微増

# 貸借対照表主要項目

## 現預金・有利子負債

■ 現預金  
■ 有利子負債  
● D/Eレシオ  
▲ ネットD/Eレシオ

(単位：百万円)



(注): 1. D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本  
 2. ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現預金) ÷ 自己資本

## 主な増減内容

- 有利子負債
- (+) 短期借入金 (146億92百万円)
- (+) 長期借入金 (13億87百万円)
- (-) 1年以内返還予定社債 (48億円)

# 2026年3月期 業績予想

---

# 2026年3月期 業績予想



(単位：百万円)	FY2025/3		FY2026/3			前回予想比	前年比	
	実績	構成比	前回予想 (25/11/6公表)	今回予想 (26/2/12公表)	構成比			
売上高	547,779	100.0%	595,000	<b>620,000</b>	100.0%	4.2%	13.2%	
営業利益	23,601	4.3%	25,500	<b>27,000</b>	4.4%	5.9%	14.4%	
経常利益	22,593	4.1%	25,500	<b>28,000</b>	4.5%	9.8%	23.9%	
親会社株主に帰属する当期純利益	17,083	3.1%	26,000	<b>28,500</b>	4.6%	9.6%	66.8%	
EPS (円) <sup>(注)</sup>	325.08	—	524.78	<b>575.24</b>	—	50.46	250.16	
ROE	10.8%	—	15.0%	<b>16.5%</b>	—	1.5pt	5.7pt	
年間配当金 (円) <sup>(注)</sup>	合計	110	—	120	<b>130</b>	—	10	20
	中間	55	—	60	<b>60</b>	—	0	5
	期末	55	—	60	<b>70</b>	—	10	15
為替レート	円/US\$	152.58	—	140.00	<b>140.00</b>	—	—	

(注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。EPS、および年間配当金は、分割日以前についても当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

# 2026年3月期 セグメント別業績予想

(単位：百万円)	FY2025/3		FY2026/3			前回予想比	前年比
	実績	利益率	前回予想 (25/11/6公表)	今回予想 (26/2/12公表)	利益率		
電子部品	売上高	472,910	516,500	<b>541,500</b>		4.8%	14.5%
	セグメント利益	16,927	3.6%	18,500	<b>20,000</b>	3.7%	8.1%
情報機器	売上高	42,652	45,000	<b>45,000</b>		0.0%	5.5%
	セグメント利益	3,307	7.8%	3,500	<b>3,500</b>	7.8%	0.0%
ソフトウェア	売上高	3,387	3,500	<b>3,500</b>		0.0%	3.3%
	セグメント利益	509	15.1%	500	<b>500</b>	14.3%	0.0%
その他	売上高	28,829	30,000	<b>30,000</b>		0.0%	4.1%
	セグメント利益	2,707	9.4%	3,000	<b>3,000</b>	10.0%	0.0%
合計	売上高	547,779	595,000	<b>620,000</b>		4.2%	13.2%
	セグメント利益	23,601	4.3%	25,500	<b>27,000</b>	4.4%	5.9%

(注) セグメント利益は、各セグメントでは調整前の数値、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

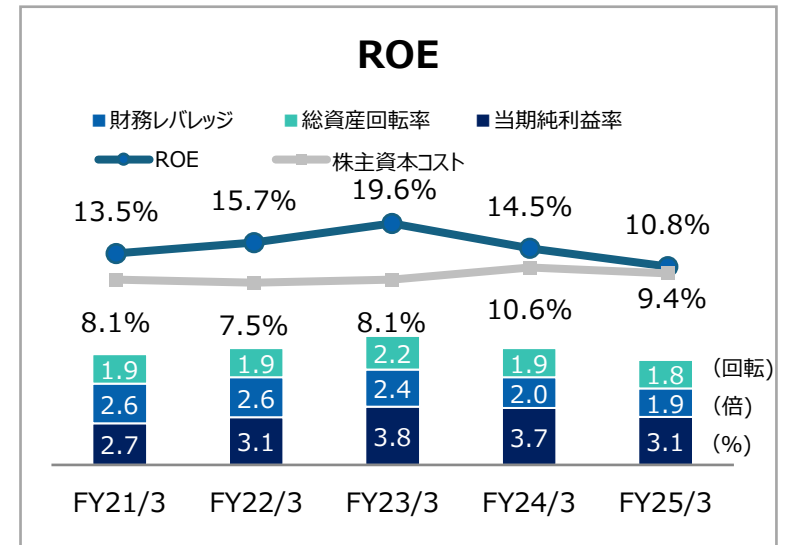
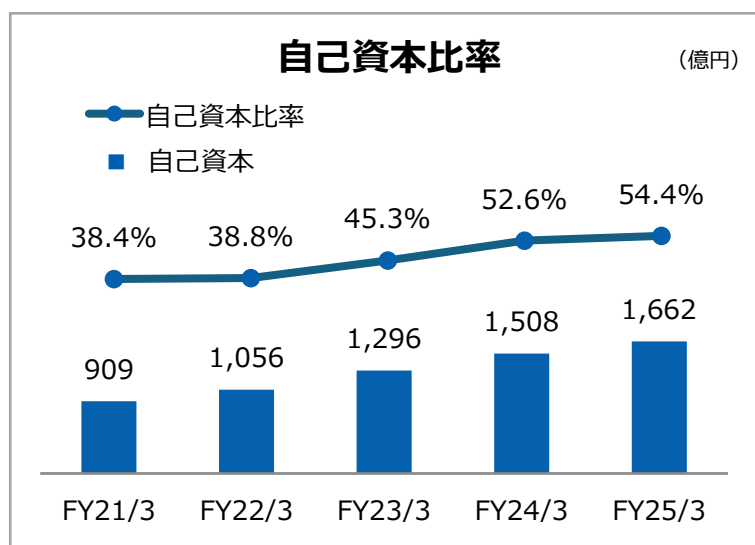
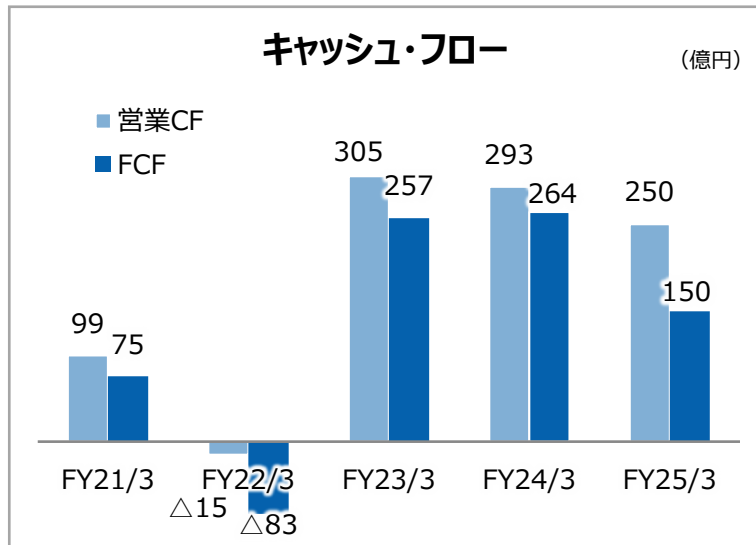
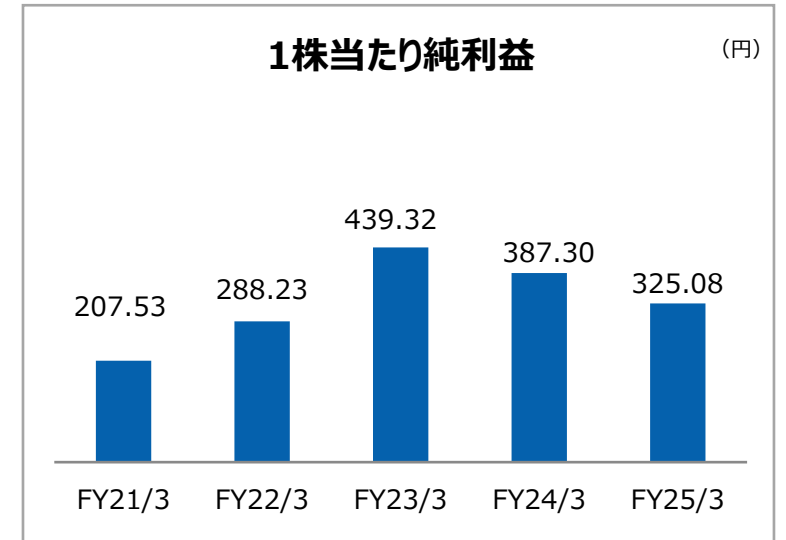
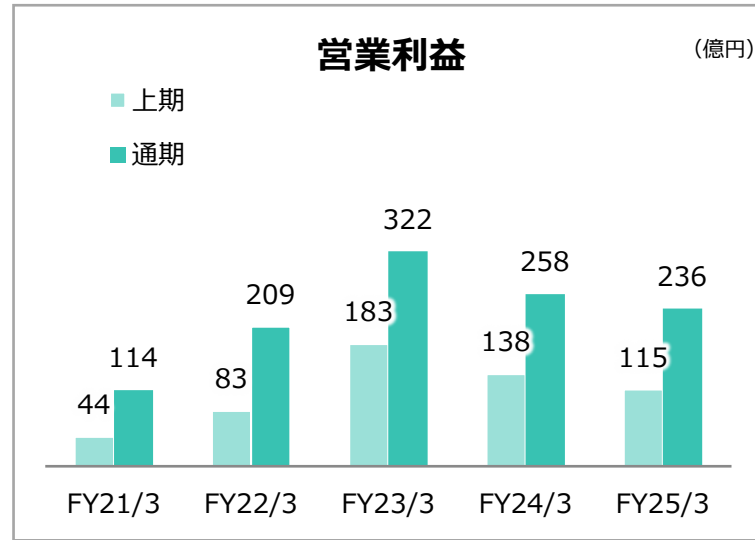
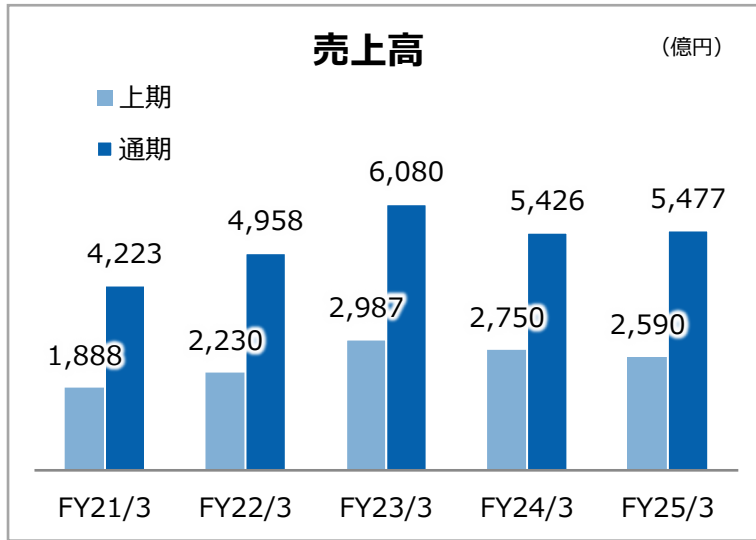
# 為替レート・為替感応度

	Q3実績 (4-12月)		(参考) 1%変動による影響額		FY2026/3前提 (円)
	FY2025/3	FY2026/3 (円)	売上高	営業利益 (百万円)	
米ドル	152.57	148.74	1,830	36	140.00
人民元	20.97	20.51	199	10	20.00
タイバーツ	4.34	4.57	245	15	4.50
香港ドル	19.57	19.07	163	4	19.00
ユーロ	164.83	171.83	108	1	160.00

## 參考資料

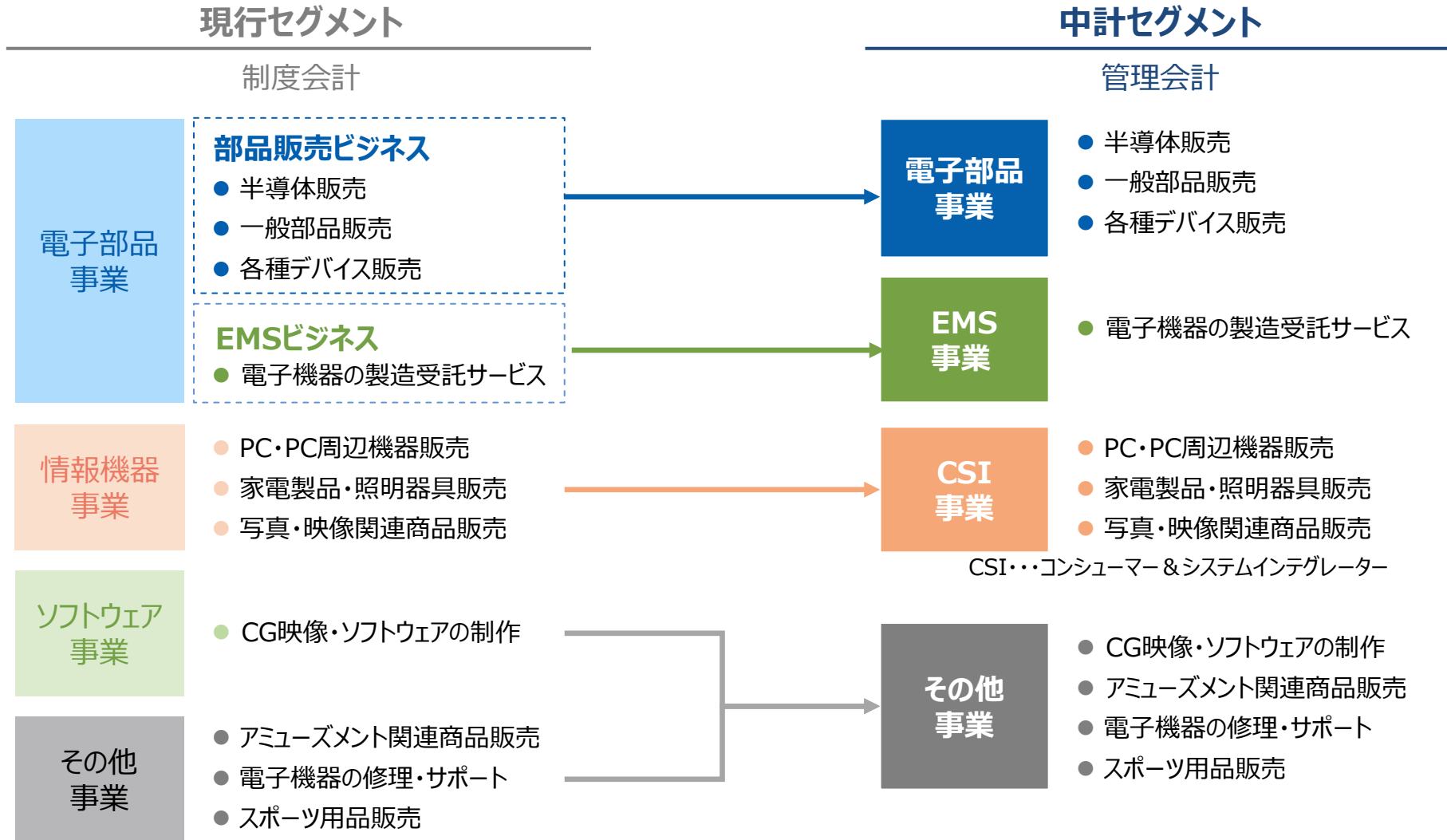
---

# 直近5年の業績トレンド



(注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純利益は、分割日以前についても当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

制度会計としての現行セグメントでの継続開示と併せ、中計に沿ったセグメントによる任意開示を行う



# 2026年3月期Q3 中計セグメント別業績

参考



Q3実績 (4-12月)

(単位：百万円)		FY2025/3	利益率	FY2026/3	利益率	前年同期比
電子部品	売上高	253,988		<b>274,227</b>		8.0%
	セグメント利益	8,058	3.2%	<b>7,973</b>	2.9%	△1.1%
EMS	売上高	99,578		<b>118,155</b>		18.7%
	セグメント利益	6,096	6.1%	<b>6,602</b>	5.6%	8.3%
CSI	売上高	26,953		<b>33,652</b>		24.9%
	セグメント利益	1,953	7.2%	<b>2,499</b>	7.4%	28.0%
その他	売上高	15,722		<b>19,439</b>		23.6%
	セグメント利益	1,819	11.6%	<b>2,249</b>	11.6%	23.6%
合計	売上高	396,243		<b>445,475</b>		12.4%
	セグメント利益	18,056	4.6%	<b>19,449</b>	4.4%	7.7%

(注) セグメント利益は、各セグメントでは調整前の数値、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

# 2026年3月期Q3 中計セグメント別業績（直近3か月）

参考



		Q3実績（10-12月）		Q2実績（7-9月）		Q3実績（10-12月）		前年同期比	直前期比
		FY2025/3	利益率	FY2026/3	利益率	<b>FY2026/3</b>	利益率		
電子部品	売上高	87,802		94,753		<b>97,626</b>		11.2%	3.0%
	セグメント利益	3,039	3.5%	2,695	2.8%	<b>3,009</b>	3.1%	△1.0%	11.6%
EMS	売上高	34,597		39,593		<b>41,364</b>		19.6%	4.5%
	セグメント利益	1,931	5.6%	2,278	5.8%	<b>2,089</b>	5.1%	8.2%	△8.3%
CSI	売上高	8,320		9,454		<b>12,080</b>		45.2%	27.8%
	セグメント利益	561	6.7%	795	8.4%	<b>883</b>	7.3%	57.3%	11.0%
その他	売上高	6,457		7,071		<b>5,445</b>		△15.7%	△23.0%
	セグメント利益	972	15.1%	712	10.1%	<b>403</b>	7.4%	△58.4%	△43.3%
合計	売上高	137,178		150,872		<b>156,516</b>		14.1%	3.7%
	セグメント利益	6,554	4.8%	6,564	4.4%	<b>6,400</b>	4.1%	△2.4%	△2.5%

(注) セグメント利益は、各セグメントでは調整前の数値、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

## その他IR情報のご案内

- IRサイト

<https://www.taxan.co.jp/jp/ir/>



- 統合レポート2025

[https://www.taxan.co.jp/jp/ir/library/library\\_09.html](https://www.taxan.co.jp/jp/ir/library/library_09.html)

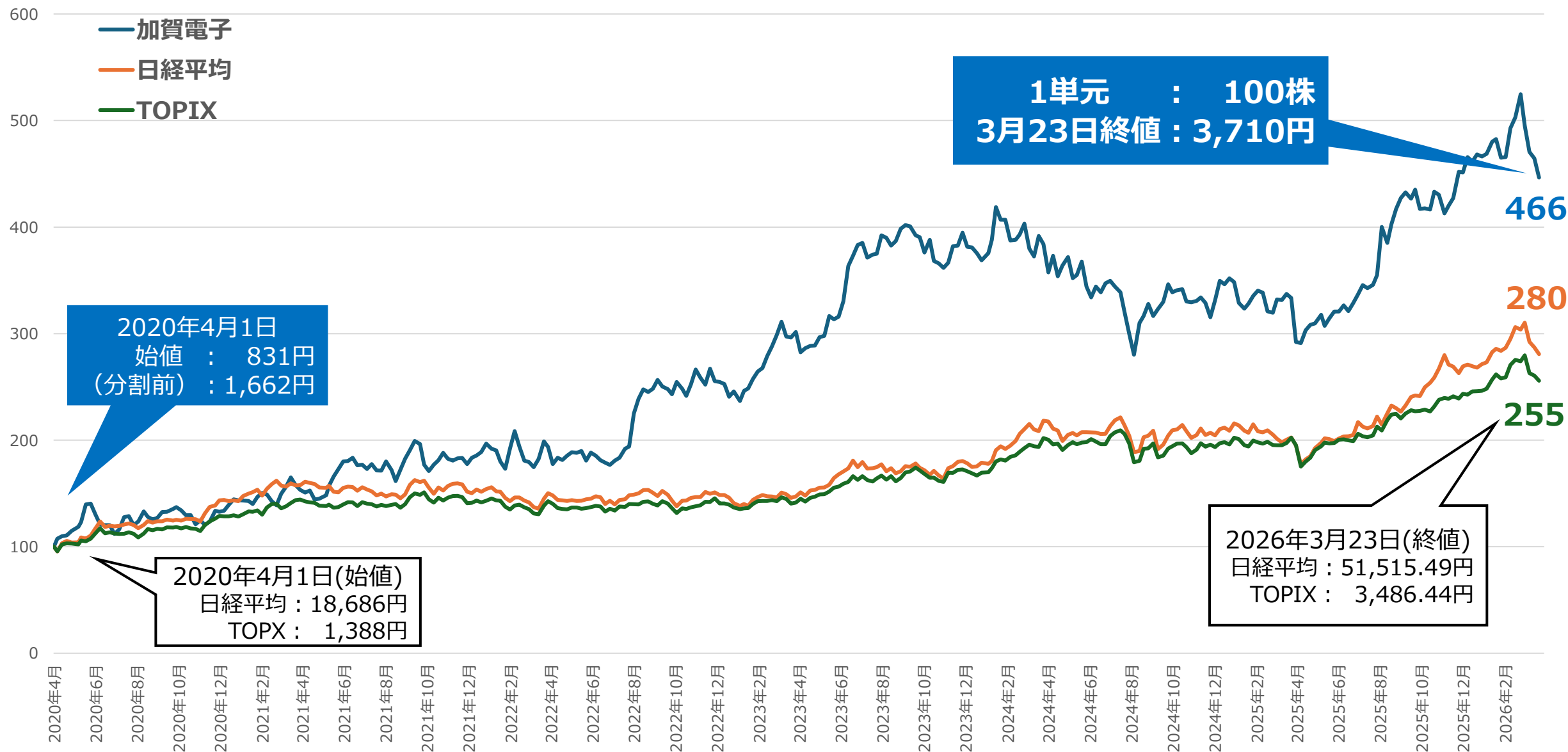


- 「IRメール配信サービス」へのご登録

<https://www.taxan.co.jp/jp/ir/irmail/index.html>



# 株価の推移 (2020年4月1日~2026年3月23日)



(注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年10月1日以前の株価についても当該株式分割調整後の金額を記載しています。

# 『すべてはお客様のために』



## 問合せ先：IR・広報部

〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地

TEL:03-5657-0106

FAX:03-3254-7131

E-mail : [webmaster@taxan.co.jp](mailto:webmaster@taxan.co.jp)

<https://www.taxan.co.jp>

### ■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

### ■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入